<令和8年10月14日　大原法律公務員専門学校岐阜校　資料>



第２部
データ分析のコツを知る

岐阜県　総合企画部
統計課　企画分析係



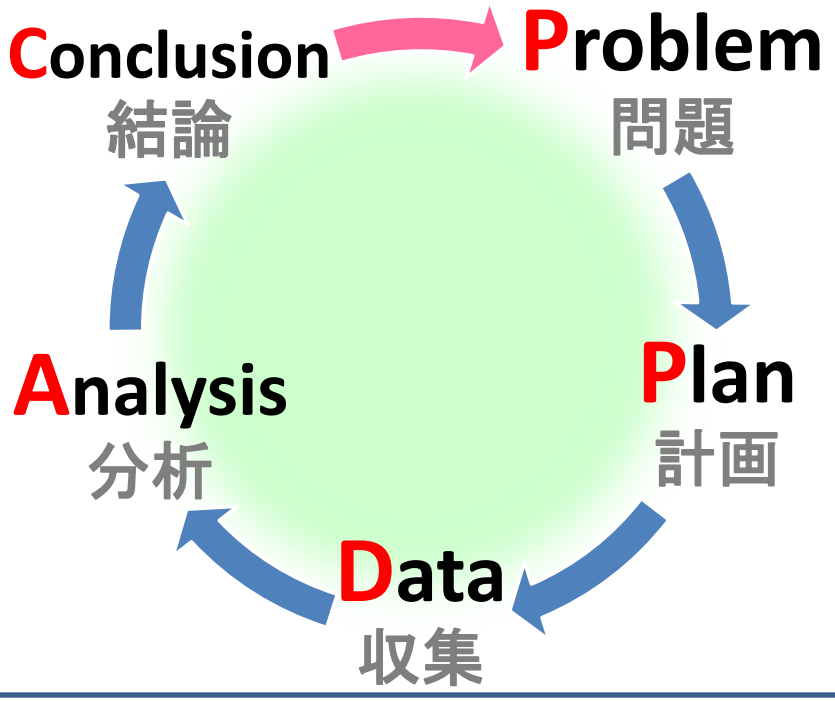
統計データを活用して問題解決

■ なぜ統計データが大事なのか？

印象や偏見、思い込みに惑わされず、客観的・中立的に現状把握や分析ができるため

統計データを活用した
問題解決プロセス
PPDACサイクル

統計データの利活用は
「目的」ではなく、
問題解決のための**「手段」**



統計利用の必要性

社会に溢れる大量の情報の中には
- 真偽が怪しいもの
- 偏った見方のもの
- 根拠のないもの

がある

- 事実を客観的に把握したい
- 的確に分析したい
- 根拠に基づいた判断がしたい

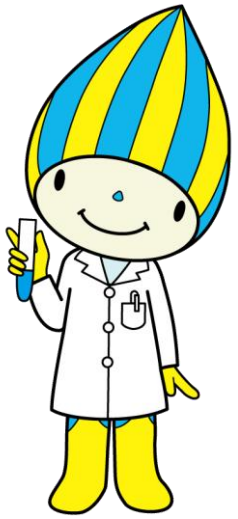
信頼ある統計データから、**客観的な分析**を
行うことは、印象や偏見に惑わされない、
証拠に基づく合理的な判断に繋がる。



統計の活用分野

行政	• 行政計画、政策の立案・実行
企業経営	• 市場の分析、経営戦略の立案
工業・生産	• 製品の品質管理、工場の稼働計画
医療	• 治療法や薬剤の有効性の判断
スポーツ	• 戦術判断、練習方法の効率化







統計利用と行政施策

行政施策の統計利用例

統計調査	統計指標例	行政施策例
家計調査	世帯支出金額	経済対策
―	景気動向指数	
―	国内総生産(GDP)	
小売物価統計調査	消費者物価指数	物価対策
労働力調査	完全失業率	雇用対策
職業安定業務統計	有効求人倍率	
国勢調査 住民基本台帳人口移動報告 岐阜県人口動態統計調査	人口 人口動態（出生死亡、転入転出）	人口問題対策 少子化対策
住宅・土地統計調査	空き家率	空き家対策

国や地方公共団体では、施策を考え実行するための基礎資料として多くの統計を利用

統計は国や社会の姿を映し出す「鏡」であり、進むべき方向を指し示す「羅針盤」

EBPMと統計

EBM（Evidence-based medicine）
根拠に基づく医療 → 公共政策部門に導入

ＥＢＰＭ
Evidence - Based Policy Making
証拠に基づく政策立案

Episode
(たまたま見聞きした
事例や限られた経験)

公的統計

政策の手段と目的(成果)との
論理的なつながり(因果関係)を明確にする

○ EBPM
× PBEM
(政策に合わせた証拠形成)



【EBPM推進の効果】
- エビデンスに基づいた正確な現状分析と評価による、**効果的かつ合理的な政策の実現**
- 住民や議会等に対してエビデンスに基づいた説明を行うことによる、**行政への信頼性向上**

統計データを活用した課題探求の流れ

Problem **問題を見つけよう**

Plan **調査計画を立てよう**

・調査対象の選び方
・内容に関する注意点

Data **データを集めよう**

Analysis **データを分析しよう**

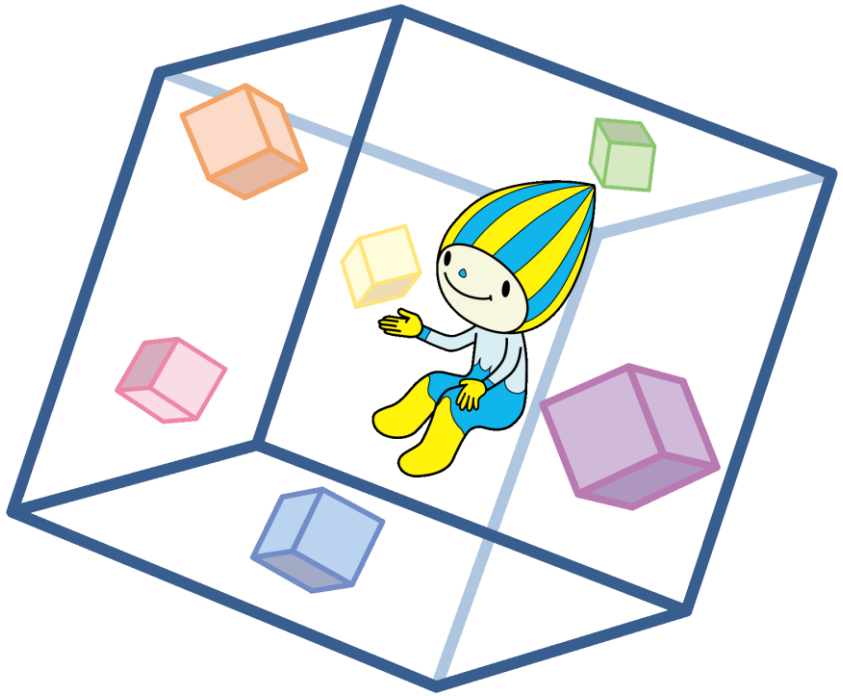
・特徴・傾向をとらえる
・いろいろな視点で比較
・グラフで表す

Conclusion **情報をまとめ、結論を考えよう**



Problem

- ✓ 問題を見つけよう



課題を明確にしよう

ポイント

- 地域や生活の中から、改善したいことや広く知ってもらいたいことなどをみつける。

- 自分がどんな地域を魅力的だと感じるか？理想とのギャップから課題をみつけることもできる。
  ⇒地域の魅力や特徴を知ることが第一歩
  統計データを使って現状を把握することも有効

人に話を聞いたり、インターネットや新聞などを使って情報収集する方法もあるよ。

Problem　問題を見つけよう

岐阜県ホームページ



岐阜県　統計情報　**検索**

出典：岐阜県公式ホームページ
（https://www.pref.gifu.lg.jp/）

統計からみた県・市町村の現状

岐阜県や県内市町村の人口や産業などに関するデータをそれぞれまとめた資料。
市町村別の主要な統計表はエクセルでも載せているので、そのまま分析にも使えます。

岐阜県統計書

県勢のあらゆる分野にわたる統計資料を収録した総合統計年鑑。明治９年からの土地、人口、労働などについて調べることができます。

Problem

問題を見つけよう

政府統計の総合窓口（e-Stat）



国や民間企業等が提供している主要な統計データをグラフなどに加工して一覧表示し、視覚的にわかりやすく、簡単に利用できる形で提供するシステム。

イースタット **検索**

出典：政府統計の総合窓口（e-Stat）
（https://www.e-stat.go.jp/）

Problem　問題を見つけよう

統計ダッシュボード



国や民間企業等が提供している主要な統計データをグラフなどに加工して一覧表示し、視覚的にわかりやすく、簡単に利用できる形で提供するシステム。

統計ダッシュボード　**検索**

出典：統計ダッシュボード（https://dashboard.e-stat.go.jp/）

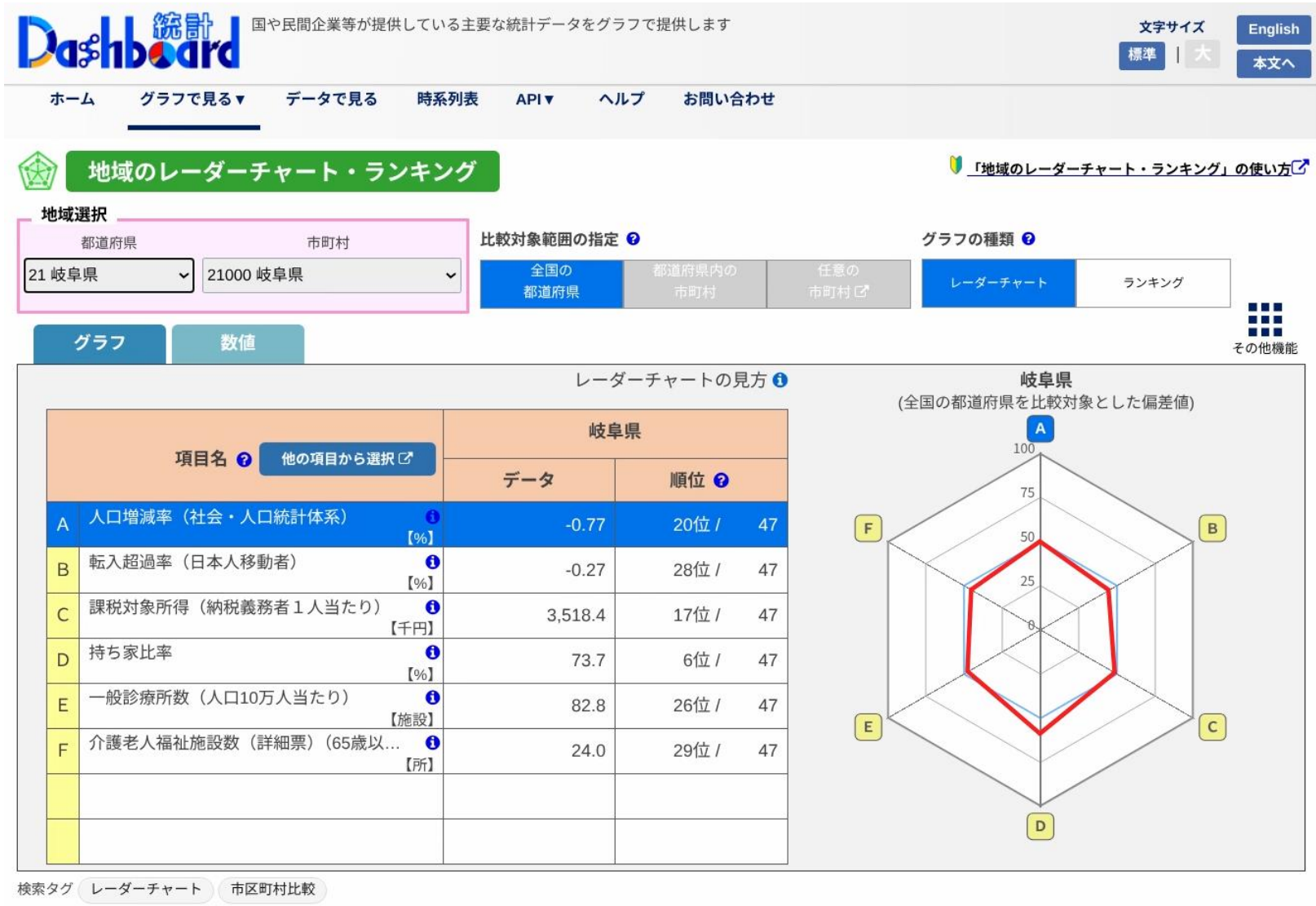
Problem　問題を見つけよう

統計ダッシュボード

おすすめ



出典：統計ダッシュボード
（https://dashboard.e-stat.go.jp/）



Problem　問題を見つけよう

地域経済分析システム（RESAS）



地域経済に関する様々なデータ
（産業構造、人口動態、人の流れ等）
を、地図やグラフ等でわかりやすく
「見える化」しているシステム

出典：RESAS（地域経済分析システム）
（https://resas.go.jp/）

リーサス　**検索**

インターネットで
誰でも利用可能！

直感的に使える、
わかりやすい画面操作！

データに基づいて、地域の
実情を把握・分析できる！

Problem 問題を見つけよう

地域経済分析システム（RESAS）



7つのマップ／
40の分析メニュー

出典：RESAS（地域経済分析システム）
（https://resas.go.jp/）

統計データを見るときの注意点

■出典にあたり、調査方法、調査対象、用語の定義などを必ず見る

■実数を必ず見る

○現状を分析し課題を抽出するには、**実数に着目**
（割合・率だけを見ていると、肝心な事実を見過ごしてしまうかも）

■現状の傾向が続けば将来どんな姿が見えるか（課題の抽出）

○ある程度長期にわたる傾向を把握できるよう、過去のデータも把握
（将来推計を行えるものは、将来の姿を数字で示すことも有効な手段）

■データの背景や変化の要因を探る

■データを分かりやすく見せる工夫を行う

○提示するデータを厳選する（**入手したデータを全部使いたいという考えは捨てる**勇気を）
○要点（伝えたいこと）を相手にイメージしてもらえるような資料にする
グラフや図に加工する、複数のデータを組み合わせて関係を示す、
降順・昇順などに並び替えてみる（ランキングなど）、等の工夫



■分析の注意

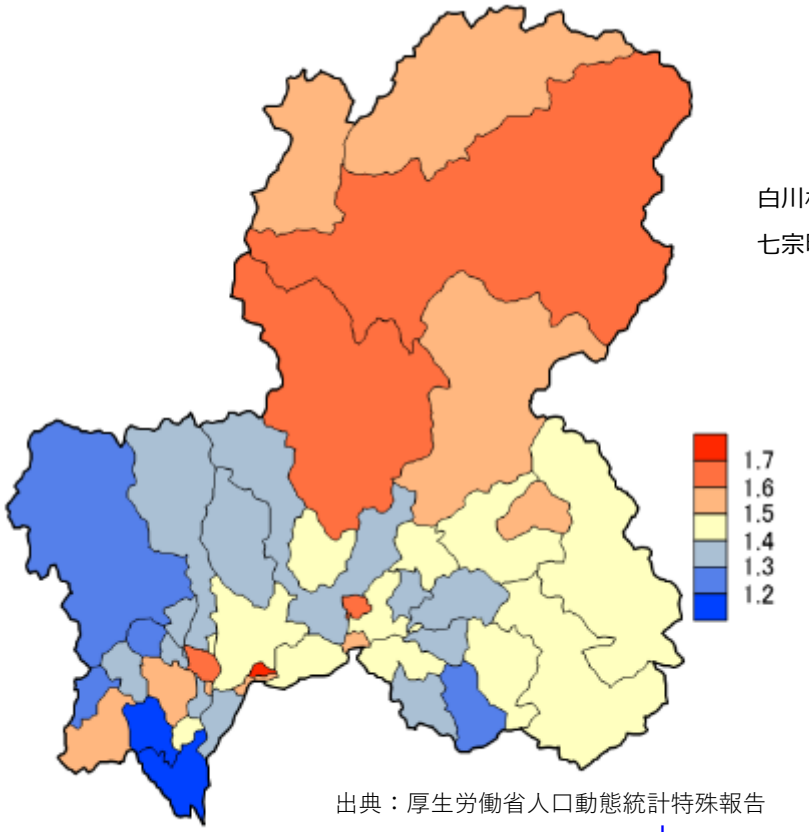
○わずかな差を強調しすぎていないか、特殊要因など突出した数字はないか、
データのちらばりはどの程度か（一部に偏りすぎたデータとなっていないか）等

Problem　問題を見つけよう

統計データを見るときの注意点

「出典にあたる」「実数を見る」の例

市町村別合計特殊出生率（岐阜県）



出典：厚生労働省人口動態統計特殊報告

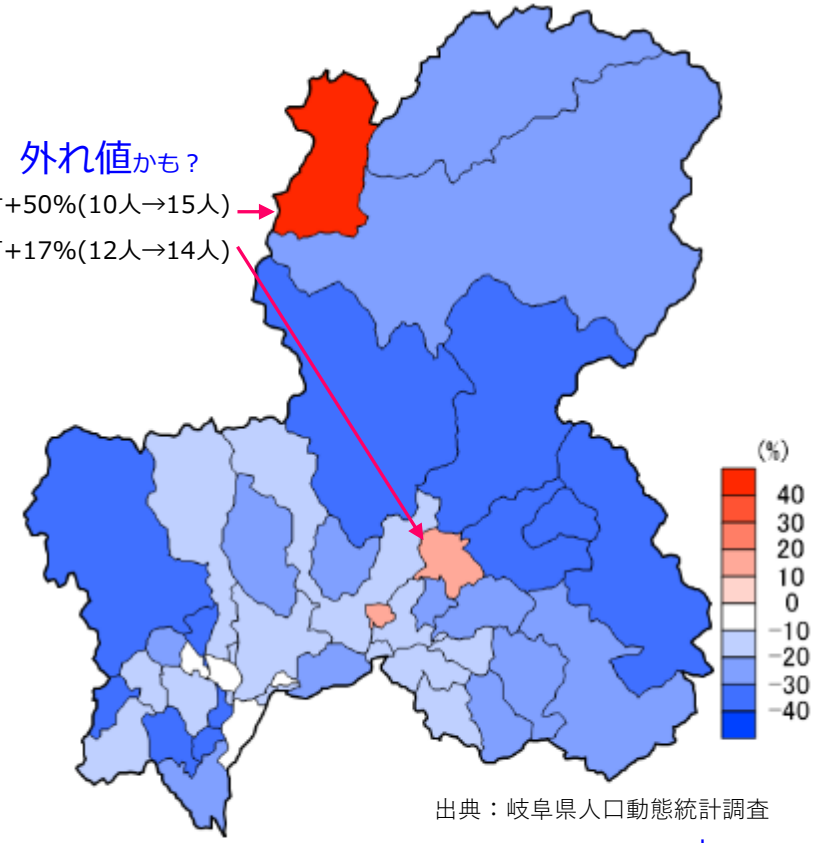
H30～R4

↓

・日本人のみ
・ベイズ推定

市町村別出生数増減率（岐阜県）

外れ値かも？
白川村+50%(10人→15人)
七宗町+17%(12人→14人)



出典：岐阜県人口動態統計調査

H30→R4増減率

↓

外国人含む

出生率が高い
＝出生数が多い
とは限らない！

合計特殊出生率
(一人の女性が一生の間に出産する子供の数に相当)
＝　15～49歳の各年齢毎の
出生数/女性の数　の合計

計算上、分母の「女性の数」が減少しても、出生率は上がる。
女性の人口流出が出生数の減少以上に進むと、少子化が進行していて合計特殊出生率は高くなる。

Plan

- ✓ **調査計画を立てよう**



Plan 調査計画を立てよう

誰に、何を質問すれば、課題が解決できそうか見通そう

１．調査の目的

「なぜ」、「何のため」に調査を行うのかを明確に！

２．調査の方法

対象：誰に
日時：いつ
場所：どこで
方法：どのように調査を行うか

３．調査する内容

どういったデータをとりたいのか、そこからどんな集計ができるのか、
結果をイメージしながら考えよう

調査対象の選び方①

●誰に調査をすれば、設定した課題の解決につながりそうか考えて決めよう。

例えば…

課題を、（テーマ：地域経済・社会）

「若者の岐阜県外への転出数の抑制（岐阜県出身者の県内就職率向上）」

と設定した場合

岐阜県内の高等学校に通う高校生を対象に、意識を調査？

岐阜県内の大学や専門学校に通う学生を対象に、意識を調査？

岐阜県内の事業所を対象に、現状や課題を調査？

Plan 調査計画を立てよう

調査対象の選び方②

全数調査

対象者全員に調査

例）岐阜県内の高等学校に通う高校生
（50,485人（令和７年現在））

○ 正確で信頼度の高いデータが得られる
△ 労力、費用がかかる

標本調査

対象者の一部に調査

例）岐阜県内の高等学校各校から10名ずつ抽出
（87校（令和７年現在）×10人＝870人）

○ 手間や費用を抑えられる
△ 本当の値との間に誤差が生じる
標本に偏りがあると、結果にも影響する（学年、性別など）

（岐阜県の高等学校に通う高校生の人数、及び岐阜県内の高等学校数（いずれも通信制を含む）は、岐阜県「令和７年度学校基本調査」による）

ポイント

調査結果の信頼度を確保するには、ある程度の標本数が必要。
どんな方法で抽出するのがベストか、考えてみよう。

調査の内容　①質問項目の選び方

①まず調査を通して知りたい項目をひととおり書き出してみる。

②書き出した項目を整理する。
- よく似た質問はまとめる
- 質問内容が細かすぎるものは削除する

③項目を並べ替える。
- 回答しやすい質問から順に聞いていく
- 関連する質問は続けて行う

Plan 調査計画を立てよう

調査の内容　②質問の作り方

質問のしかたには、大きく分けて２つのタイプがある

自由回答

例）あなたは、将来岐阜県内で就職することに対してどのようなイメージをもっていますか。

（　　）

○ より本音が引き出せる
△ 集計に時間がかかる
回答者の負担が増え、無回答が多くなりがち

選択回答

例）あなたは、将来岐阜県内で就職することに対してどのようなイメージをもっていますか。
①県に愛着があり、そうしたい
②県に愛着があるが、
都市部の方がよりよい仕事に就けそう
⋮

程度のレベルで聞く、選択回答の変形もある↓

例）あなたは、将来岐阜県内で就職することに対してどのようなイメージをもっていますか。

前向き（5・4・3・2・1）後ろ向き

○ 集計がしやすい、短時間で回答できる
△ 選択肢が回答のヒントになってしまい、質問者の予期しない回答が得られない

ポイント　適切な回答を得られるような質問のしかたを工夫しよう

Plan 調査計画を立てよう

調査の内容　③質問文作成時の注意点

① 物価の上昇についてどう思いますか？

② 今、生活で困っていることは何ですか？

✓ ①を回答してから②を見ると、「お金」の話題が浮かびやすくなります。質問の順番に注意しましょう。

近年の若い人は、運動不足から生活習慣病に罹患するケースが増加していると言われていますが、今後、あなたは運動の時間を増やしたいと思いますか？

✓ 運動不足の危険性を伝えてから運動時間を増やしたいかどうか聞いています。普段はそう思っていない人でも、「増やしたい」と回答してしまいそうです。

最近、映画館に行きましたか？

はい　・　いいえ

✓ 「最近」はいつまでを言うのでしょう。人によってとらえ方が異なる言葉は避け、「一か月以内」など明確な言葉を使いましょう。

食料や生活用品を通販で購入しますか？

はい　・　いいえ

✓ 「食料」は購入したけれど「生活用品」は購入していない人はどう回答したらよいか困ってしまいます。一つの質問項目に二つの質問を入れないように気を付けよう。

ポイント　誘導的な質問や、あいまいな表現には気を付けよう

Data

✓ データを集めよう



アンケート調査結果を集計しよう

- 集計は、ひとつひとつ正確に行う。
- 「その他」や「未回答」も大切なデータなので、集計に入れる。
- エクセルを使って整理していくと、その後の分析が楽になる！

＜エクセルを使った整理の例＞

ボランティアに関するアンケート調査　個票集計

	性別	年齢	①	②－１	②－２	③－１	③－２	④	④その他の記述
1	男	10代	1	1	－	1	1	2	
2	女	30代	1	2	－	1	1	2	
3	女	30代	2	－	3	2	1	1	
4	男	20代	2	－	1	2	3	1	
5	男	60代	1	4	－	2	1	2	
6	女	70代	1	3	－	1	2	3	△△△
7	男	50代	2	－	2	2	1	未回答	
8	男	40代	1	2	－	2	3	2	
合計	8	8	8	5	3	8	8	8	2

Analysis

✓ データを分析しよう



さまざまな分析をしよう

①データの特徴・傾向をとらえる

・中心的な傾向
・データの散らばり

②いろいろな視点で比較してみる

・比率（割合、構成比など）
・違う地域／区分ごと（性別、年代、地域など）／過去と比較

③データをグラフに表す

・データを視覚化することで、データの特徴がとらえやすくなる

Analysis　データを分析しよう　①データの特徴・傾向をとらえる

中心的な傾向やデータの散らばりをとらえよう

〈例〉 都道府県別総人口

どうしたら
結果がわかりやすく
なるでしょうか。

都道府県	人口（万人）	都道府県	人口（万人）
北海道	498	滋賀県	139
青森県	114	京都府	250
岩手県	112	大阪府	876
宮城県	223	兵庫県	532
秋田県	88	奈良県	127
山形県	99	和歌山県	86
福島県	171	鳥取県	52
茨城県	279	島根県	63
栃木県	186	岡山県	181
群馬県	187	広島県	268
埼玉県	729	山口県	126
千葉県	626	徳島県	67
東京都	1424	香川県	91
神奈川県	919	愛媛県	126
新潟県	207	高知県	64
富山県	98	福岡県	508
石川県	109	佐賀県	78
福井県	73	長崎県	123
山梨県	78	熊本県	168
長野県	195	大分県	108
岐阜県	189	宮崎県	102
静岡県	347	鹿児島県	151
愛知県	745	沖縄県	147
三重県	169		

ランキング順に
並べ替えてみる

	都道府県	人口（万人）		都道府県	人口（万人）
1	東京都	1,424	25	沖縄県	147
2	神奈川県	919	26	滋賀県	139
3	大阪府	876	27	山口県	126
4	愛知県	745	28	愛媛県	126
5	埼玉県	729	29	奈良県	127
6	千葉県	626	30	長崎県	123
7	兵庫県	532	31	青森県	114
8	福岡県	508	32	岩手県	112
9	北海道	498	33	石川県	109
10	静岡県	347	34	大分県	108
11	茨城県	279	35	宮崎県	102
12	広島県	268	36	山形県	99
13	京都府	250	37	富山県	98
14	宮城県	223	38	香川県	91
15	新潟県	207	39	秋田県	88
16	長野県	195	40	和歌山県	86
17	岐阜県	189	41	佐賀県	78
18	群馬県	187	42	山梨県	78
19	栃木県	186	43	福井県	73
20	岡山県	181	44	徳島県	67
21	福島県	171	45	高知県	64
22	三重県	169	46	島根県	63
23	熊本県	168	47	鳥取県	52
24	鹿児島県	151			



出典：総務省「令和7年国勢調査」

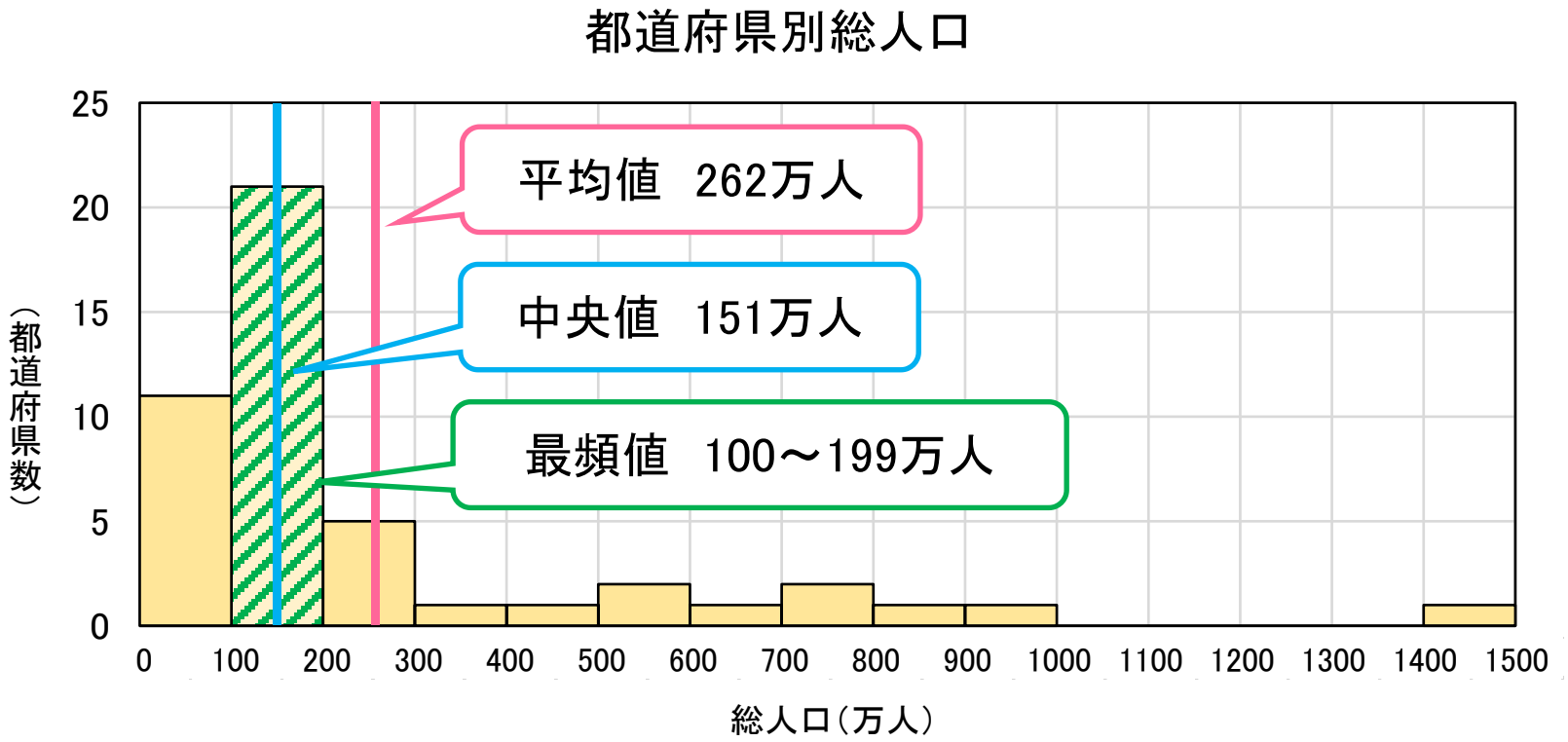
Analysis　データを分析しよう　①データの特徴・傾向をとらえる

中心的な傾向やデータの散らばりをとらえよう

度数分布表

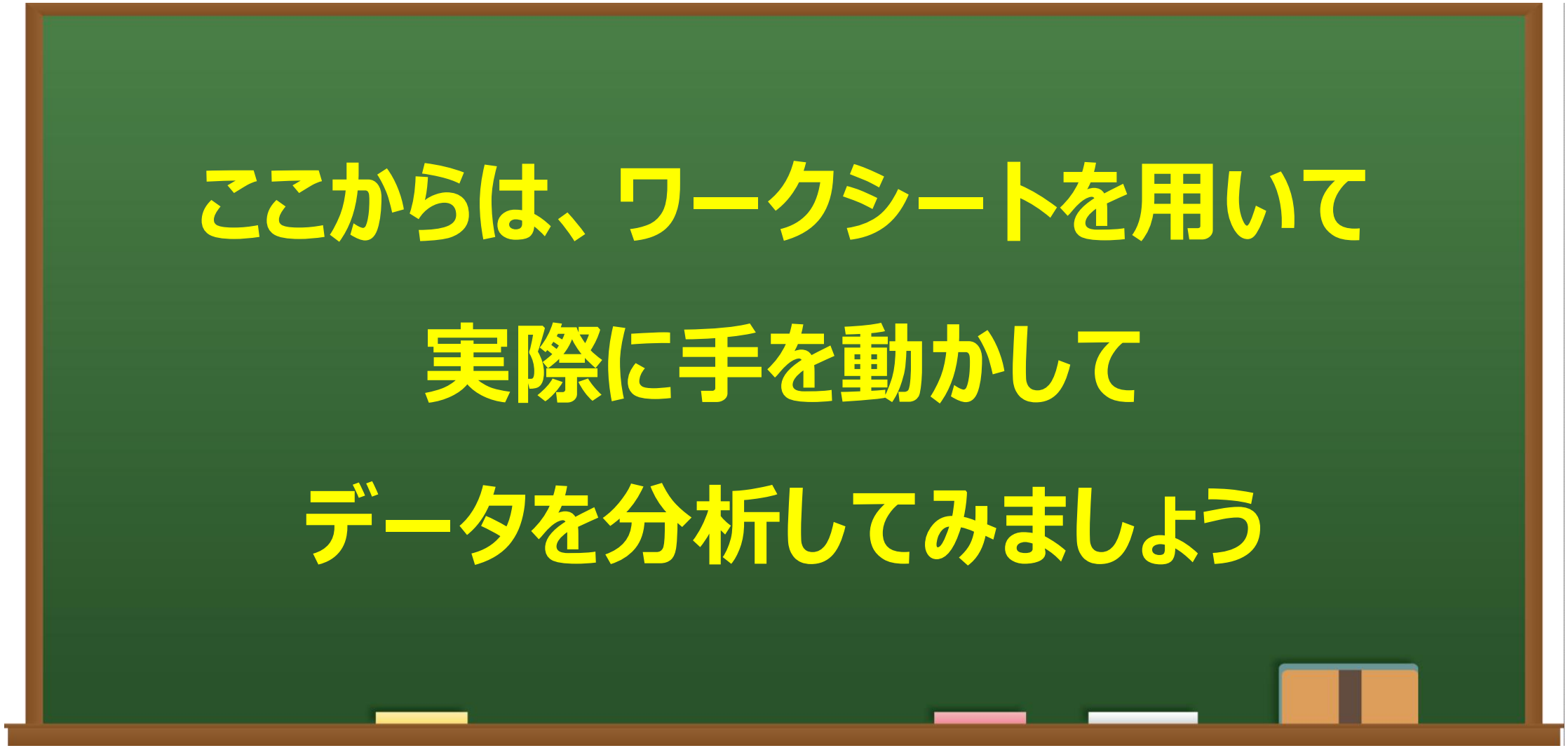
人口（万人）	都道府県数
0 ～ 99	11
100 ～ 199	21
200 ～ 299	5
300 ～ 399	1
400 ～ 499	1
500 ～ 599	2
600 ～ 699	1
700 ～ 799	2
800 ～ 899	1
900 ～ 999	1
1000 ～ 1099	0
1100 ～ 1199	0
1200 ～ 1299	0
1300 ～ 1399	0
1400 ～ 1499	1

ヒストグラム



平均値…全てのデータを足してデータ数で割った値
中央値…データを小さい順に並べ、ちょうど中央にある値
最頻値…最も頻度が高い（一番多く出現している）値

出典：総務省「令和7年国勢調査」


ここからは、ワークシートを用いて
実際に手を動かして
データを分析してみましょう

【ワークの課題】

岐阜県の自家用乗用車保有台数は、

他の都道府県に比べて、

「多い方」か「少ない方」か？



岐阜県で保有されている乗用車台数は、

1,301,706台

出典：（一財）自動車検査登録情報協会
「都道府県別・車種別自動車保有台数」（令和８年６月末現在）



（ワーク１）自家用乗用車保有台数

自家用乗用車保有台数

都道府県	台	都道府県	台	都道府県	台
北海道	2,799,658	石川県	731,752	岡山県	1,168,835
青森県	718,124	福井県	512,856	広島県	1,470,703
岩手県	733,870	山梨県	568,136	山口県	811,532
宮城県	1,304,733	長野県	1,393,136	徳島県	454,692
秋田県	574,272	岐阜県	1,301,706	香川県	597,353
山形県	682,517	静岡県	2,234,557	愛媛県	745,953
福島県	1,209,454	愛知県	4,267,186	高知県	392,485
茨城県	2,013,532	三重県	1,165,000	福岡県	2,684,009
栃木県	1,353,576	滋賀県	828,969	佐賀県	516,319
群馬県	1,393,260	京都府	1,000,028	長崎県	700,848
埼玉県	3,275,265	大阪府	2,824,758	熊本県	1,059,420
千葉県	2,884,806	兵庫県	2,327,985	大分県	699,158
東京都	3,176,824	奈良県	654,251	宮崎県	681,570
神奈川県	3,078,724	和歌山県	542,926	鹿児島県	969,305
新潟県	1,381,336	鳥取県	346,138	沖縄県	947,468
富山県	705,218	島根県	408,299		

自家用乗用車保有台数

都道府県	万台	都道府県	万台	都道府県	万台
北海道	280	石川県	73	岡山県	117
青森県	72	福井県	51	広島県	147
岩手県	73	山梨県	57	山口県	81
宮城県	130	長野県	139	徳島県	45
秋田県	57	岐阜県		香川県	60
山形県	68	静岡県	223	愛媛県	75
福島県	121	愛知県	427	高知県	39
茨城県	201	三重県	117	福岡県	268
栃木県	135	滋賀県	83	佐賀県	52
群馬県	139	京都府	100	長崎県	70
埼玉県	328	大阪府	282	熊本県	106
千葉県	288	兵庫県	233	大分県	70
東京都	318	奈良県	65	宮崎県	68
神奈川県	308	和歌山県	54	鹿児島県	97
新潟県	138	鳥取県	35	沖縄県	95
富山県	71	島根県	41		

見やすくするために、
１万の位までの概数にして考えます。

出典：（一財）自動車検査登録情報協会「都道府県別・車種別自動車保有台数」（令和8年6月末現在）

（答え）自家用乗用車保有台数

自家用乗用車保有台数

都道府県	台	都道府県	台	都道府県	台
北海道	2,799,658	石川県	731,752	岡山県	1,168,835
青森県	718,124	福井県	512,856	広島県	1,470,703
岩手県	733,870	山梨県	568,136	山口県	811,532
宮城県	1,304,733	長野県	1,393,136	徳島県	454,692
秋田県	574,272	岐阜県	1,301,706	香川県	597,353
山形県	682,517	静岡県	2,234,557	愛媛県	745,953
福島県	1,209,454	愛知県	4,267,186	高知県	392,485
茨城県	2,013,532	三重県	1,165,000	福岡県	2,684,009
栃木県	1,353,576	滋賀県	828,969	佐賀県	516,319
群馬県	1,393,260	京都府	1,000,028	長崎県	700,848
埼玉県	3,275,265	大阪府	2,824,758	熊本県	1,059,420
千葉県	2,884,806	兵庫県	2,327,985	大分県	699,158
東京都	3,176,824	奈良県	654,251	宮崎県	681,570
神奈川県	3,078,724	和歌山県	542,926	鹿児島県	969,305
新潟県	1,381,336	鳥取県	346,138	沖縄県	947,468
富山県	705,218	島根県	408,299		

自家用乗用車保有台数

都道府県	万台	都道府県	万台	都道府県	万台
北海道	280	石川県	73	岡山県	117
青森県	72	福井県	51	広島県	147
岩手県	73	山梨県	57	山口県	81
宮城県	130	長野県	139	徳島県	45
秋田県	57	岐阜県	130	香川県	60
山形県	68	静岡県	223	愛媛県	75
福島県	121	愛知県	427	高知県	39
茨城県	201	三重県	117	福岡県	268
栃木県	135	滋賀県	83	佐賀県	52
群馬県	139	京都府	100	長崎県	70
埼玉県	328	大阪府	282	熊本県	106
千葉県	288	兵庫県	233	大分県	70
東京都	318	奈良県	65	宮崎県	68
神奈川県	308	和歌山県	54	鹿児島県	97
新潟県	138	鳥取県	35	沖縄県	95
富山県	71	島根県	41		

見やすくするために、
１万の位までの概数にして考えます。

出典：（一財）自動車検査登録情報協会「都道府県別・車種別自動車保有台数」（令和8年6月末現在）

多い方か、少ない方か、調べるにはどうしたらよいでしょうか？

1　平均を調べる。

2　ランキングで順位を調べる。

3　度数分布表に整理し、
　　ヒストグラムを分析する。



（ワーク２）平均を調べる

○全都道府県の自家用乗用車数の合計を求めて、
平均を計算してみましょう。

→ 合計は、 6,227万台 です。

○岐阜県の自家用乗用車数は、 130万台 です。

○一都道府県の自家用乗用車数（平均）は、約○○○万台（整数） です。

岐阜県の自家用乗用車数は平均よりも多いでしょうか。
それとも少ないでしょうか。

（答え）平均を調べる

○全都道府県の自家用乗用車数の合計を求めて、
　平均を計算してみましょう。

　　→　合計は、 6,227万台　です。

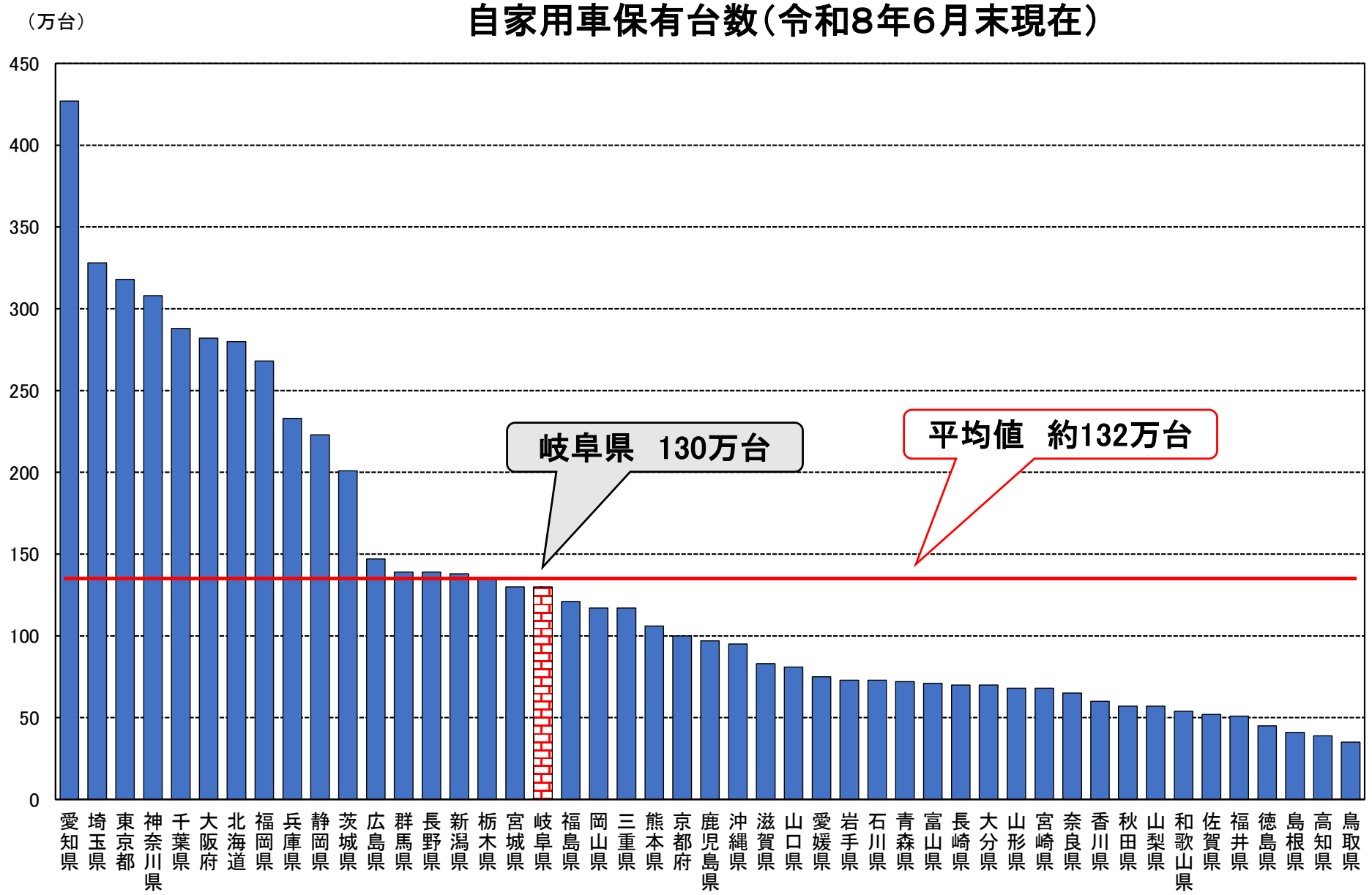
○岐阜県の自家用乗用車数は、 130万台　です。

○一都道府県の自家用乗用車数（平均）は、 約132万台（整数） です。

　　→　岐阜県の自家用乗用車数は平均より少ない。

◎ということは、少ない方なのか？
　（これだけでは、まだ断定できません）

グラフで分析（平均値）



出典：（一財）自動車検査登録情報協会「都道府県別・車種別自動車保有台数」（令和8年6月末現在）

（ワーク３）ランキングで順位を調べる

並べ替えによって、
分析が
しやすくなりました



自家用乗用車保有台数（ランキング順）

順位	都道府県	万台
1	愛知県	427
2	埼玉県	328
3	東京都	318
4	神奈川県	308
5	千葉県	288
6	大阪府	282
7	北海道	280
8	福岡県	268
9	兵庫県	233
10	静岡県	223
11	茨城県	201
12	広島県	147
13	群馬県	139
14	長野県	139
15	新潟県	138
16	栃木県	135

順位	都道府県	万台
17	宮城県	130
18	岐阜県	130
19	福島県	121
20	岡山県	117
21	三重県	117
22	熊本県	106
23	京都府	100
24	鹿児島県	97
25	沖縄県	95
26	滋賀県	83
27	山口県	81
28	愛媛県	75
29	岩手県	73
30	石川県	73
31	青森県	72
32	富山県	71

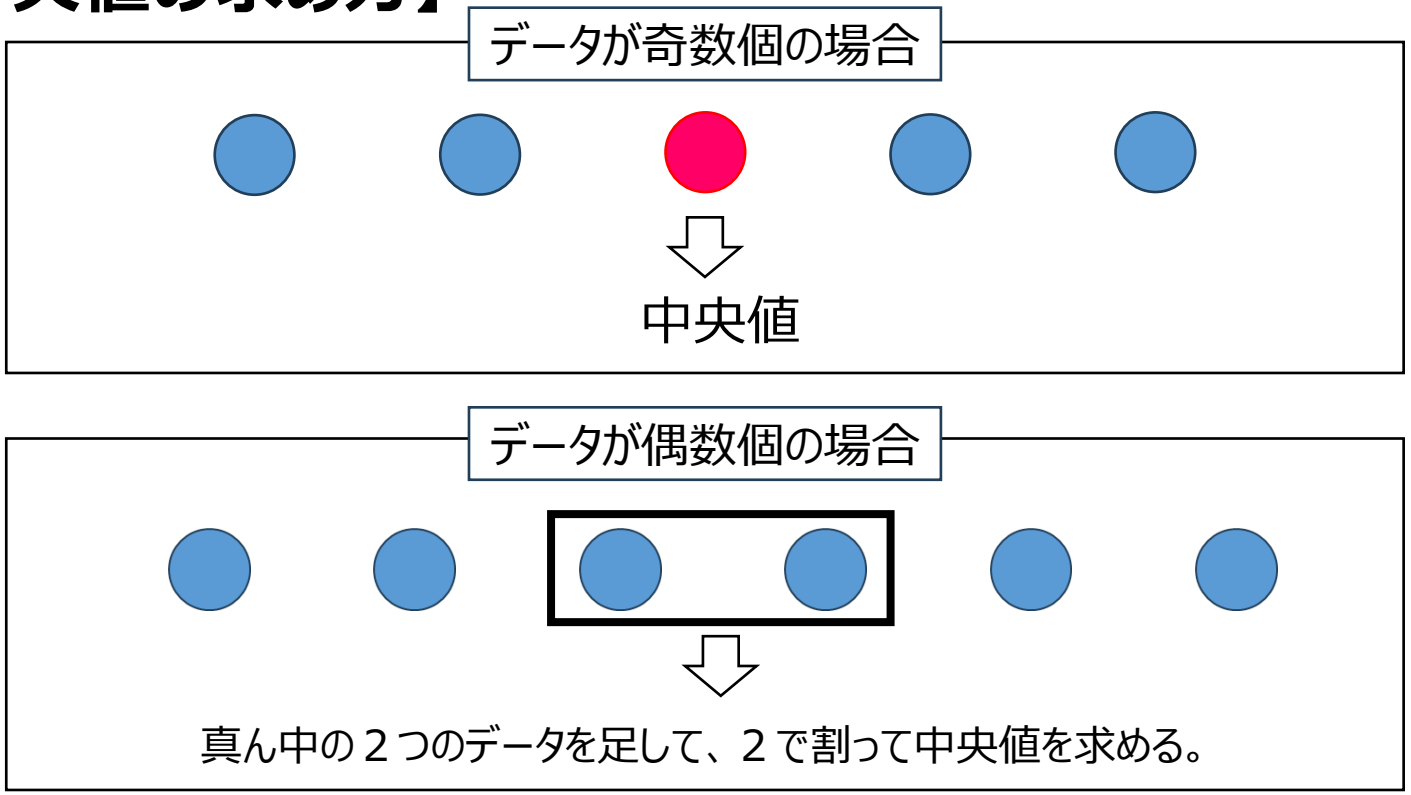
順位	都道府県	万台
33	長崎県	70
34	大分県	70
35	山形県	68
36	宮崎県	68
37	奈良県	65
38	香川県	60
39	秋田県	57
40	山梨県	57
41	和歌山県	54
42	佐賀県	52
43	福井県	51
44	徳島県	45
45	島根県	41
46	高知県	39
47	鳥取県	35

出典：（一財）自動車検査登録情報協会「都道府県別・車種別自動車保有台数」（令和8年6月末現在）

（ワーク３）ランキングで順位を調べる

中央値：データを小さい順に並べた時の真ん中の値
（自家用車保有台数が真ん中の都道府県）

【中央値の求め方】

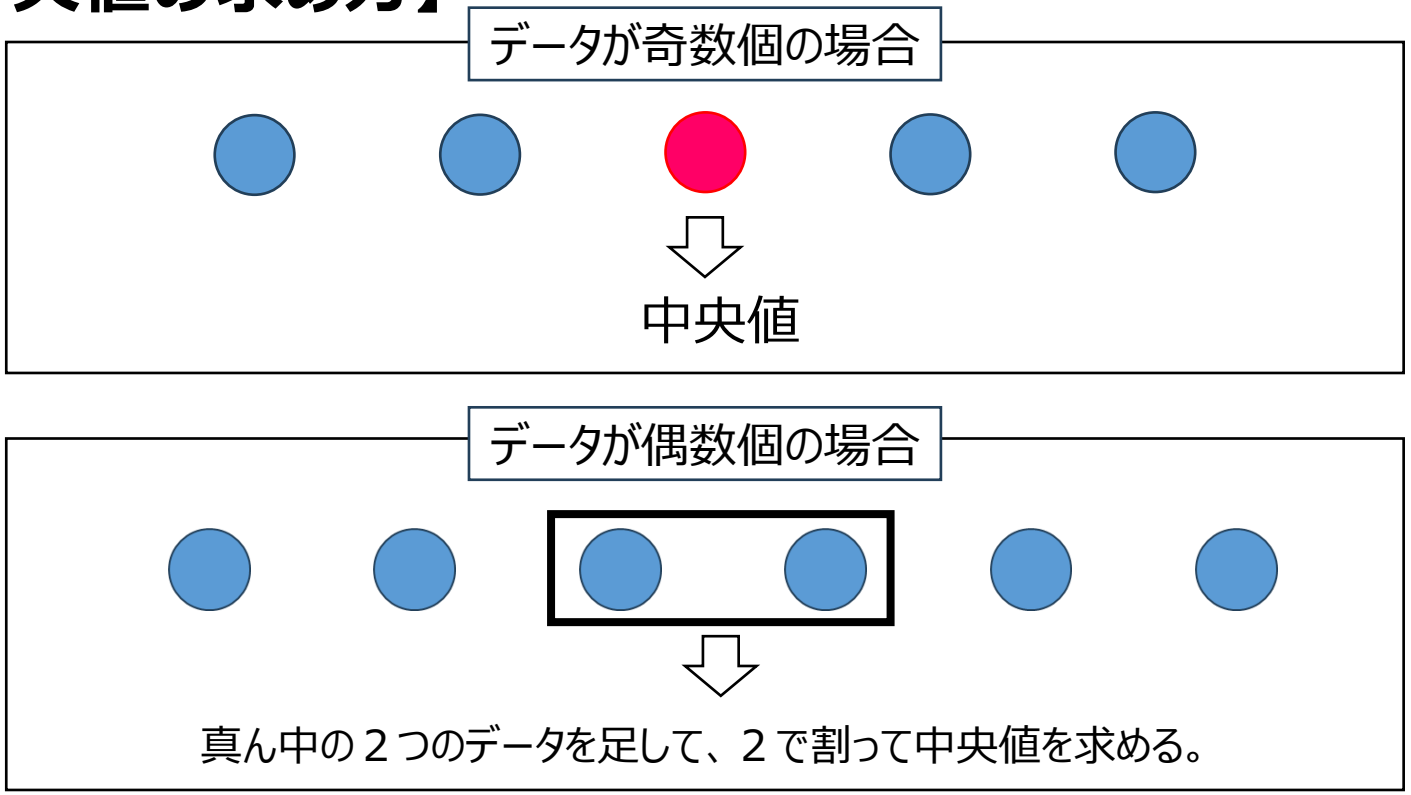


中央値：○○○県の○○万台

（答え）ランキングで順位を調べる

中央値：データを小さい順に並べた時の真ん中の値
（自家用車保有台数が真ん中の都道府県）

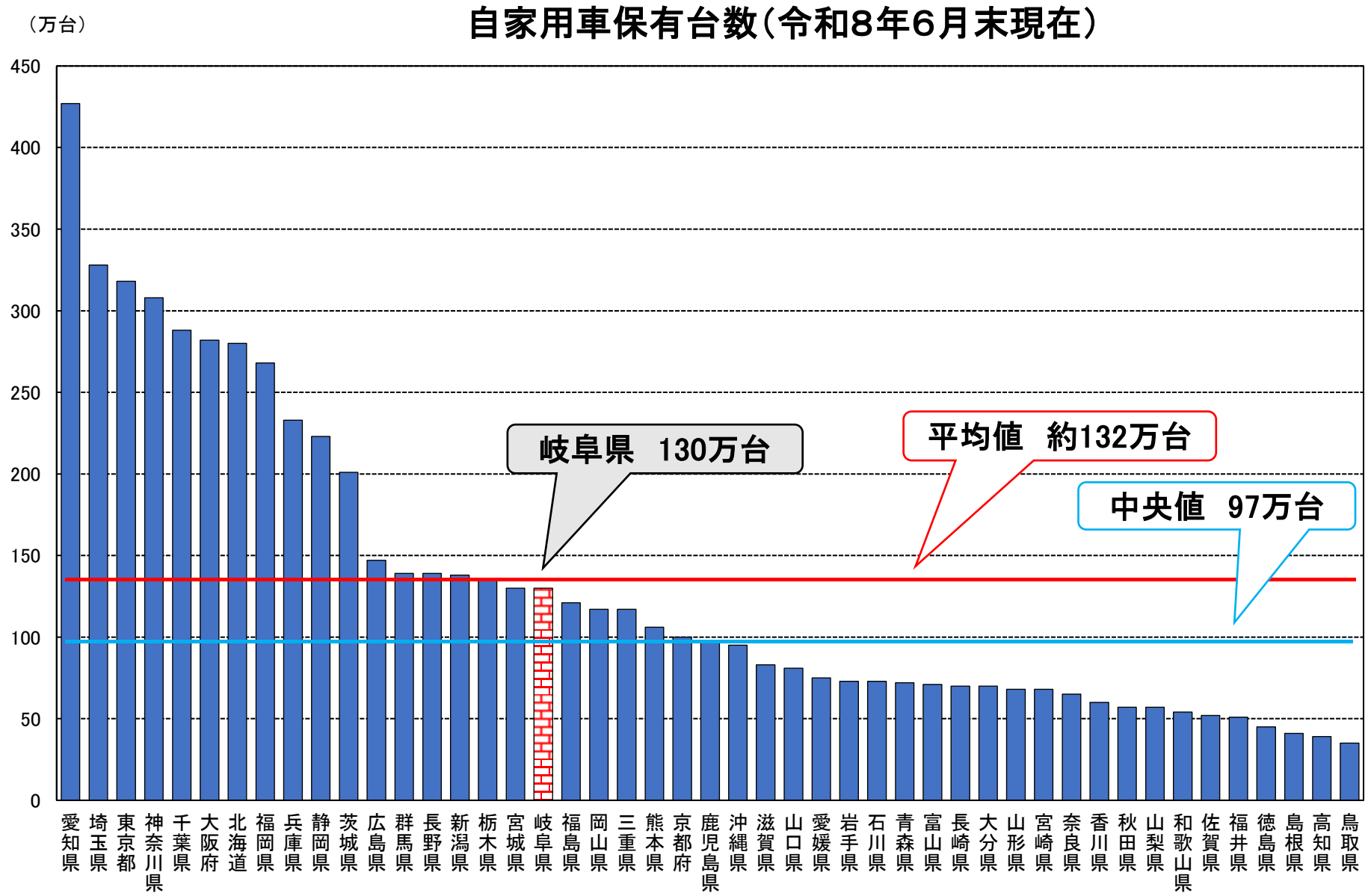
【中央値の求め方】



中央値：鹿児島県の97万台

※ データが**奇数個**（47都道府県）なので、
中央値は24位の数値

グラフで分析（中央値）



出典：（一財）自動車検査登録情報協会「都道府県別・車種別自動車保有台数」（令和8年6月末現在）

グラフから平均値と中央値で比較すると



岐阜県は、

- 平均値と比べると少ない
- 中央値と比べると多い

困りましたね。いったいどちらなのでしょうか？

（ワーク４）何万台くらいの県が最も多いのか、数字がどの程度偏っているか、調べてみましょう。

（ア）表の値に沿って、同じ階級の値の県を数える。

⇒　**度数分布表**

（イ）（ア）で作成した表の値からグラフを作る。

⇒　**ヒストグラム**



（ワーク４）何万台くらいの都道府県が最も多いのか、台数がどの程度偏っているか、調べてみましょう。

【用語の確認】

- **度数分布表**

データを階級ごとに分けて分布を表した表

- **度数**

各階級に含まれるデータの個数

- **階級**

データを分ける区間

- **階級値**

一般に、各階級の真ん中の値（各階級の中央値）

- **階級の幅**

区間の幅（広さ）

度数分布表

階級（万台） 以上　未満	階級値	度数（都道府県数）
0～50		
50～100		
100～150		
150～200		
200～250		
250～300		
300～350		
350～400		
400～450		
合計		47

（ワーク４）自家用車保有台数を階級ごとに分けて度数分布表を作成する

ランキング表

自家用乗用車保有台数（ランキング順）

順位	都道府県	万台
1	愛知県	427
2	埼玉県	328
3	東京都	318
4	神奈川県	308
5	千葉県	288
6	大阪府	282
7	北海道	280
8	福岡県	268
9	兵庫県	233
10	静岡県	223
11	茨城県	201
12	広島県	147
13	群馬県	139
14	長野県	139
15	新潟県	138
16	栃木県	135

順位	都道府県	万台
17	宮城県	130
18	岐阜県	130
19	福島県	121
20	岡山県	117
21	三重県	117
22	熊本県	106
23	京都府	100
24	鹿児島県	97
25	沖縄県	95
26	滋賀県	83
27	山口県	81
28	愛媛県	75
29	岩手県	73
30	石川県	73
31	青森県	72
32	富山県	71

順位	都道府県	万台
33	長崎県	70
34	大分県	70
35	山形県	68
36	宮崎県	68
37	奈良県	65
38	香川県	60
39	秋田県	57
40	山梨県	57
41	和歌山県	54
42	佐賀県	52
43	福井県	51
44	徳島県	45
45	島根県	41
46	高知県	39
47	鳥取県	35

度数分布表

度数分布表

階級（万台） 以上　未満	階級値	度数（都道府県数）
0～50		
50～100		
100～150		
150～200		
200～250		
250～300		
300～350		
350～400		
400～450		
合計		47

出典：（一財）自動車検査登録情報協会「都道府県別・車種別自動車保有台数」（令和8年6月末現在）

（答え）自家用車保有台数を階級ごとに分けて度数分布表を作成する

ランキング表

自家用乗用車保有台数（ランキング順）

順位	都道府県	万台
1	愛知県	427
2	埼玉県	328
3	東京都	318
4	神奈川県	308
5	千葉県	288
6	大阪府	282
7	北海道	280
8	福岡県	268
9	兵庫県	233
10	静岡県	223
11	茨城県	201
12	広島県	147
13	群馬県	139
14	長野県	139
15	新潟県	138
16	栃木県	135
17	宮城県	130
18	岐阜県	130
19	福島県	121
20	岡山県	117
21	三重県	117
22	熊本県	106
23	京都府	100
24	鹿児島県	97
25	沖縄県	95
26	滋賀県	83
27	山口県	81
28	愛媛県	75
29	岩手県	73
30	石川県	73
31	青森県	72
32	富山県	71
33	長崎県	70
34	大分県	70
35	山形県	68
36	宮崎県	68
37	奈良県	65
38	香川県	60
39	秋田県	57
40	山梨県	57
41	和歌山県	54
42	佐賀県	52
43	福井県	51
44	徳島県	45
45	島根県	41
46	高知県	39
47	鳥取県	35

度数分布表

度数分布表

階級（万台） 以上　未満	階級値	度数（都道府県数）
0～50	25	4
50～100	75	20
100～150	125	12
150～200	175	0
200～250	225	3
250～300	275	4
300～350	325	3
350～400	375	0
400～450	425	1
合計		47

出典：（一財）自動車検査登録情報協会「都道府県別・車種別自動車保有台数」（令和8年6月末現在）

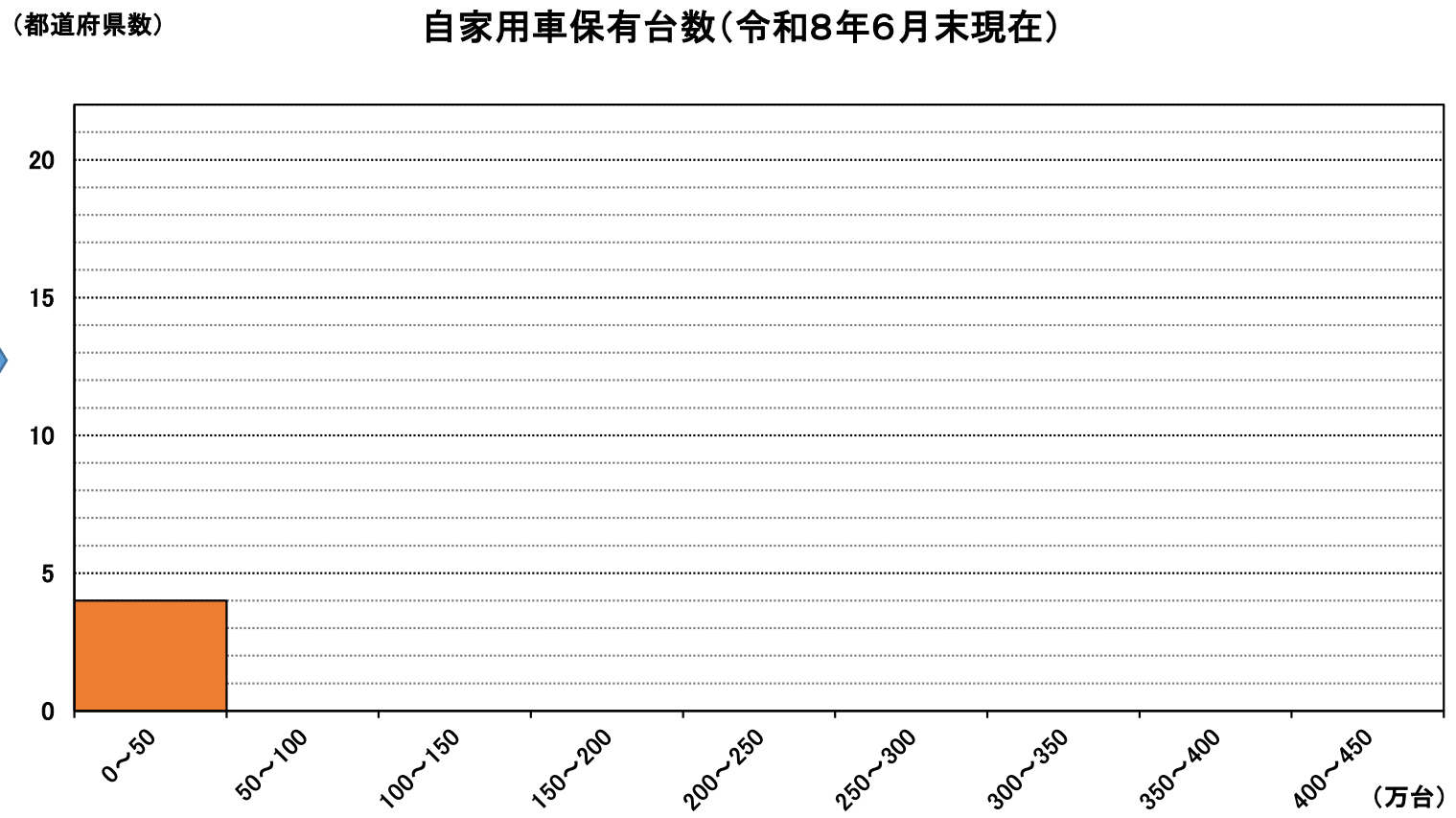
（ワーク５）度数分布表からヒストグラムを作成し、分析する

度数分布表

度数分布表

階級（万台） 以上　未満	階級値	度数（都道府県数）
0～50	25	4
50～100	75	20
100～150	125	12
150～200	175	0
200～250	225	3
250～300	275	4
300～350	325	3
350～400	375	0
400～450	425	1
合計		47

ヒストグラム



出典：（一財）自動車検査登録情報協会「都道府県別・車種別自動車保有台数」（令和8年6月末現在）

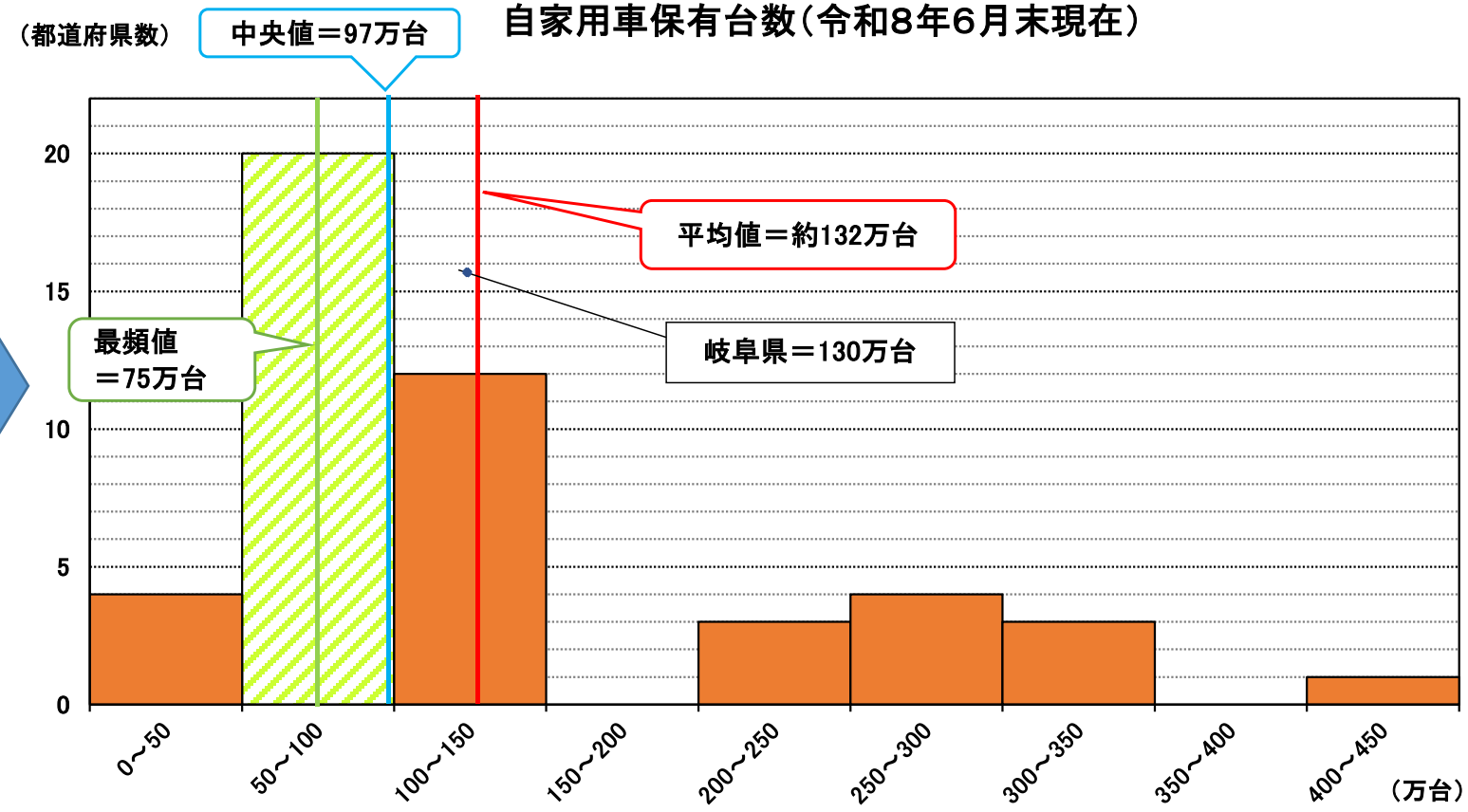
（答え）度数分布表からヒストグラムを作成し、分析する

度数分布表

度数分布表

階級（万台） 以上　未満	階級値	度数（都道府県数）
0～50	25	4
50～100	75	20
100～150	125	12
150～200	175	0
200～250	225	3
250～300	275	4
300～350	325	3
350～400	375	0
400～450	425	1
合計		47

ヒストグラム



出典：（一財）自動車検査登録情報協会「都道府県別・車種別自動車保有台数」（令和8年6月末現在）

ヒストグラムを分析すると

- 最も度数が多い階級は、50以上100万台未満で、
  この階級に20県が属している。（最頻値は75万台）
- 岐阜県は、100以上150万台未満の階級に属している。

→岐阜県は最頻値階級よりも上位の階級に位置している。



【まとめ】代表値から分析

1　岐阜県は、平均値よりは少ない。

2　しかし、ランキングをみると、

　　岐阜県は多い方から18位。中央値よりも多い。

3　ヒストグラムを分析すると、岐阜県は最頻値

　　よりも上位にある。



この結果から、岐阜県の自家用乗用車保有台数は、多い方と言える。

全体の傾向を見て、総合的に判断することが大事

データを分析するには、

代表値（平均値、中央値、最頻値）を

比較したり、ヒストグラムなどからデータの散らばり

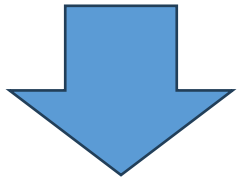
を把握して、総合的に判断することが大事です。



単位当たり（1人当たり）の使用方法

データによっては、人口に大きく左右されるものが多くあります。

その場合、単純なデータの比較では、正しく分析ができません。



そんなときは・・・

データを比べるときに、**「１人当たり」**も考えてみましょう。

異なるデータの基準を揃えて、比較できるようになります。

※人口に左右されることなく、数の比較ができます。

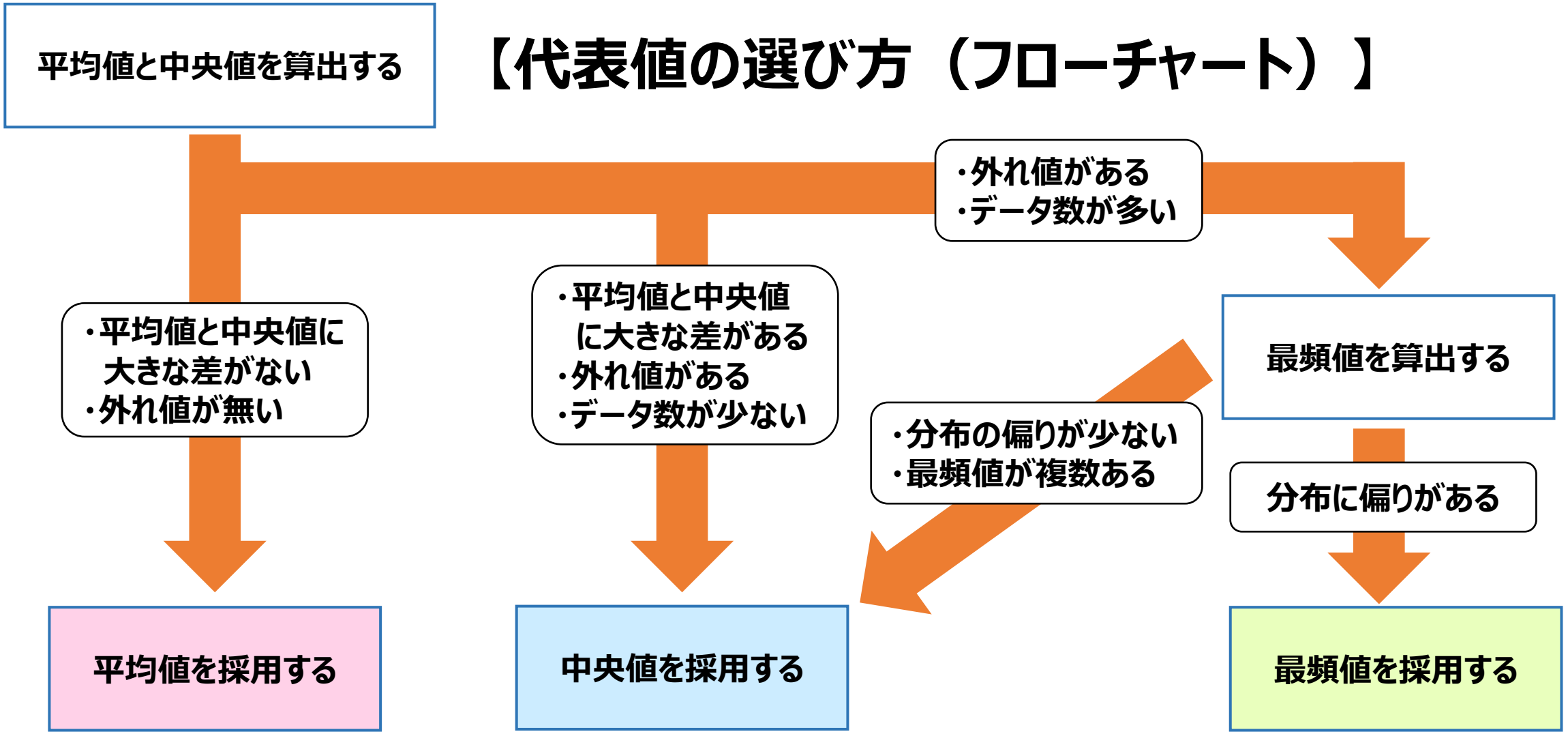
中心的な傾向やデータの散らばりをとらえよう

	メリット	デメリット
平均値	すべての値を考慮できる （使用例）身長、テストの点数など	外れ値があると、実態とはかけ離れた値となる
中央値	外れ値があっても、実態に近い値となる （使用例）年収、貯蓄など	すべての値を考慮できない 分布に偏りがある場合には使えない
最頻値	外れ値があっても、実態に近い値となる 分布に偏りがある場合も使える	データ数が多い場合しか使えない 最頻値が複数存在する場合がある

※外れ値とは、データの中で他の値から極端に離れた値のこと。

中心的な傾向やデータの散らばりをとらえよう

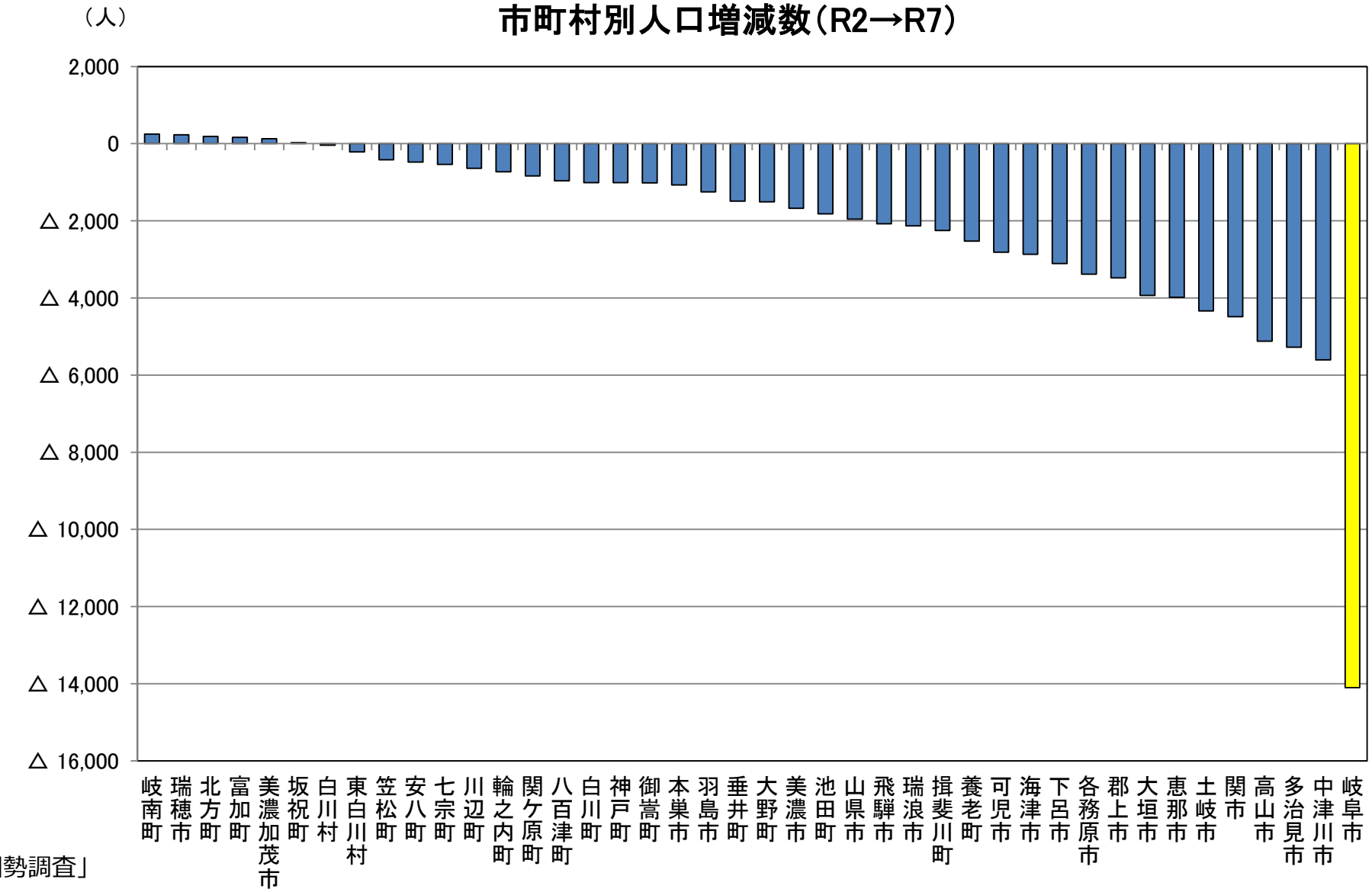
【代表値の選び方（フローチャート）】



Analysis

データを分析しよう　②いろいろな視点で比較してみる

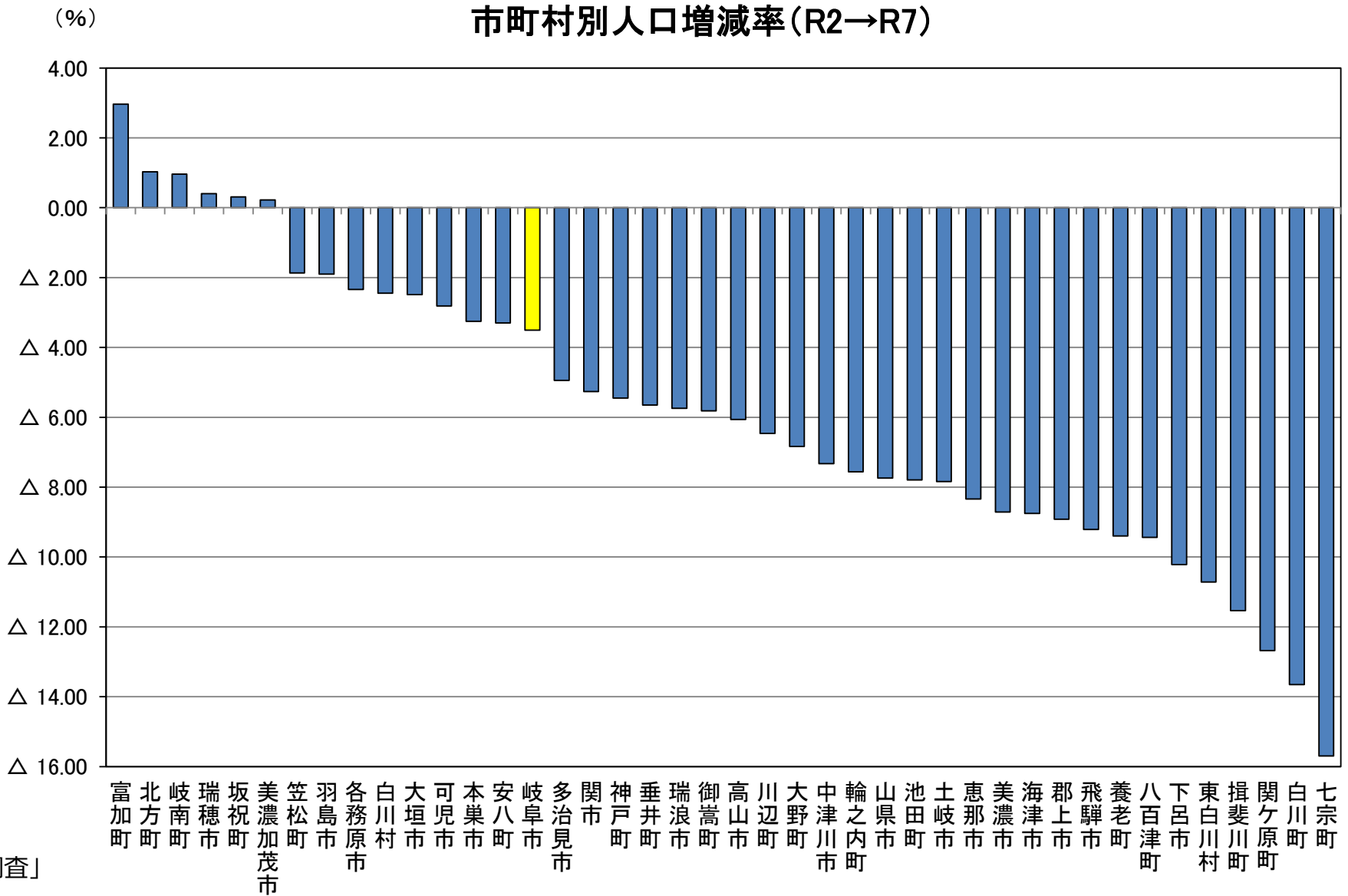
県内で最も人口減少が深刻なのは、岐阜市？



出典：総務省「国勢調査」

Analysis　データを分析しよう　②いろいろな視点で比較してみる

増減率を比較することで、別の視点での分析が可能



出典：総務省「国勢調査」

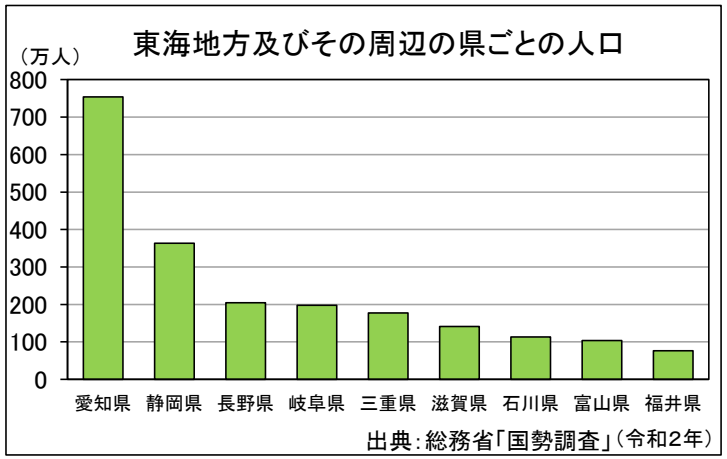
Analysis

データを分析しよう　③データをグラフで表す

データに合うグラフや表を選ぼう

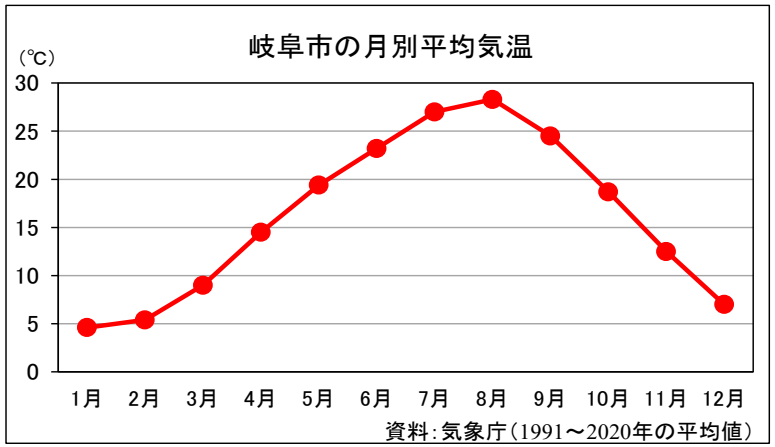
棒グラフ

量の大小を
棒の高さで比較する



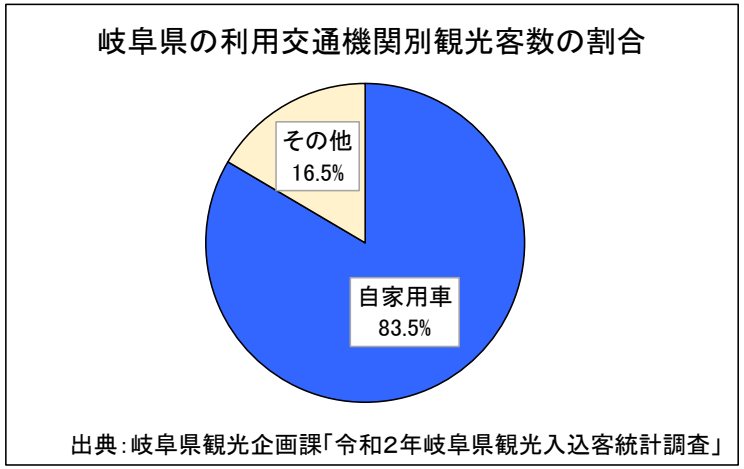
折れ線グラフ

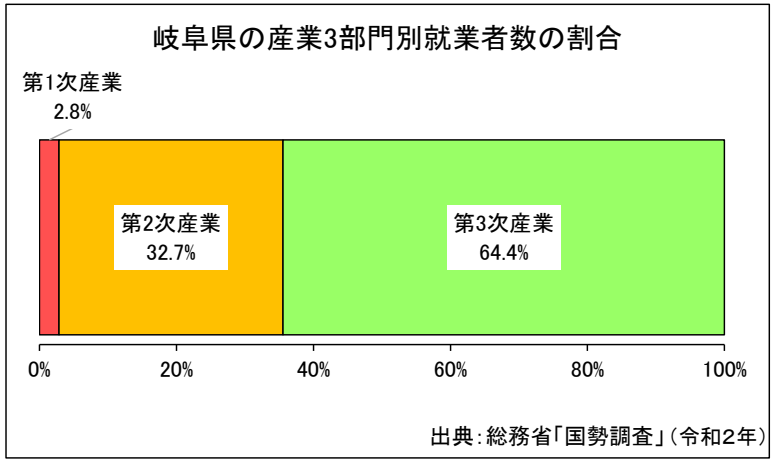
量の変化を傾きで表す



円グラフ・帯グラフ

割合を円や帯の広さで表す



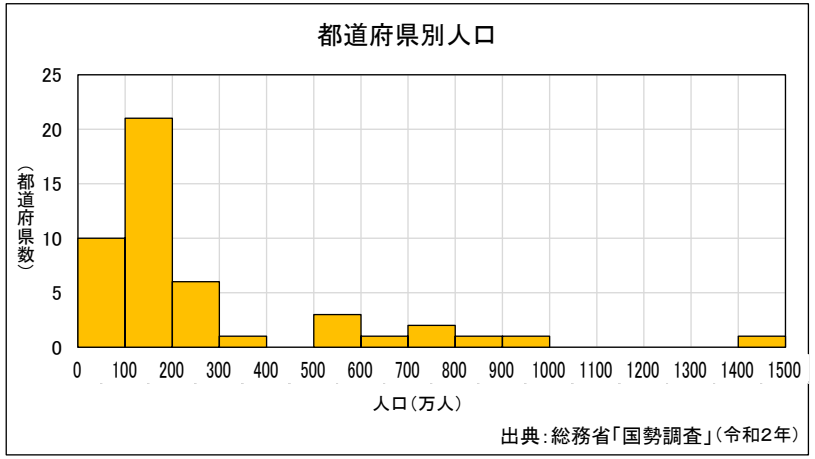


Analysis　データを分析しよう　③データをグラフで表す

データに合うグラフや表を選ぼう

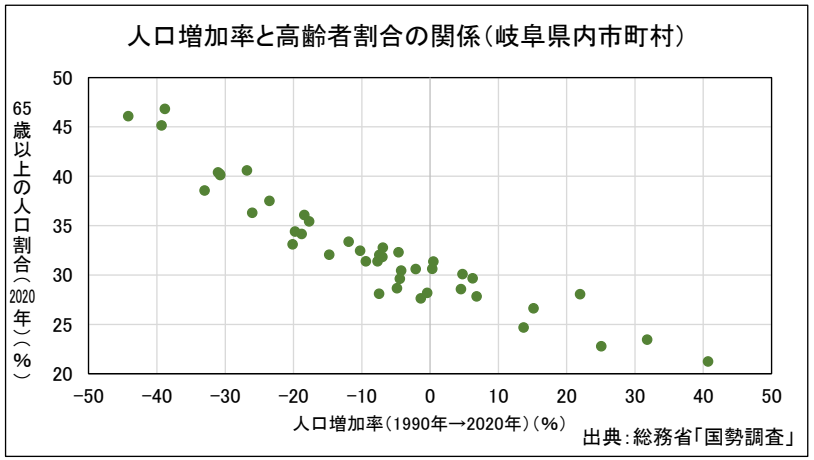
ヒストグラム

データの散らばり具合をみる



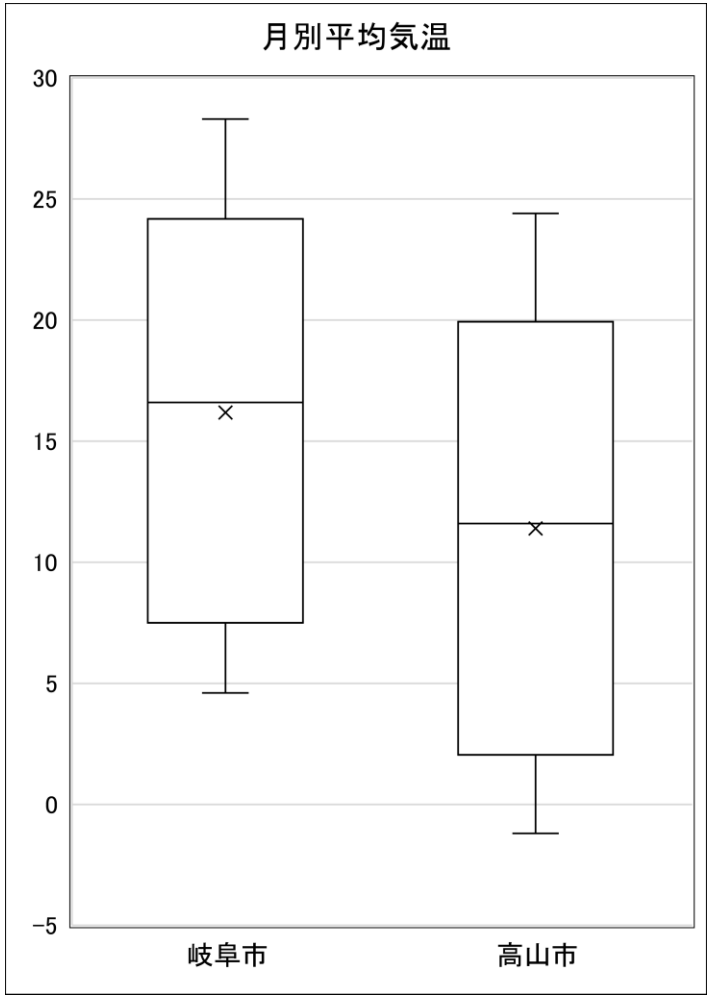
散布図

２つの数量の関係を分析する



箱ひげ図

データの散らばり具合をみる
他のデータと比較が可能



資料：気象庁（1991～2020年の平均値）

**グラフに表して
視覚化することで、
新たな発見が
得られることも多い**

Conclusion

- ✓ 情報をまとめ、結論を考えよう



Conclusion 情報をまとめ、結論を考えよう

分析結果から解決策を読み取り、まとめよう

- 分析結果から読み取れることを整理し、課題に対する解決策や結論を述べる。

- 課題と調査の方法、解決策を見つけるまでの分析内容など、一連の流れをまとめるとわかりやすくなる。

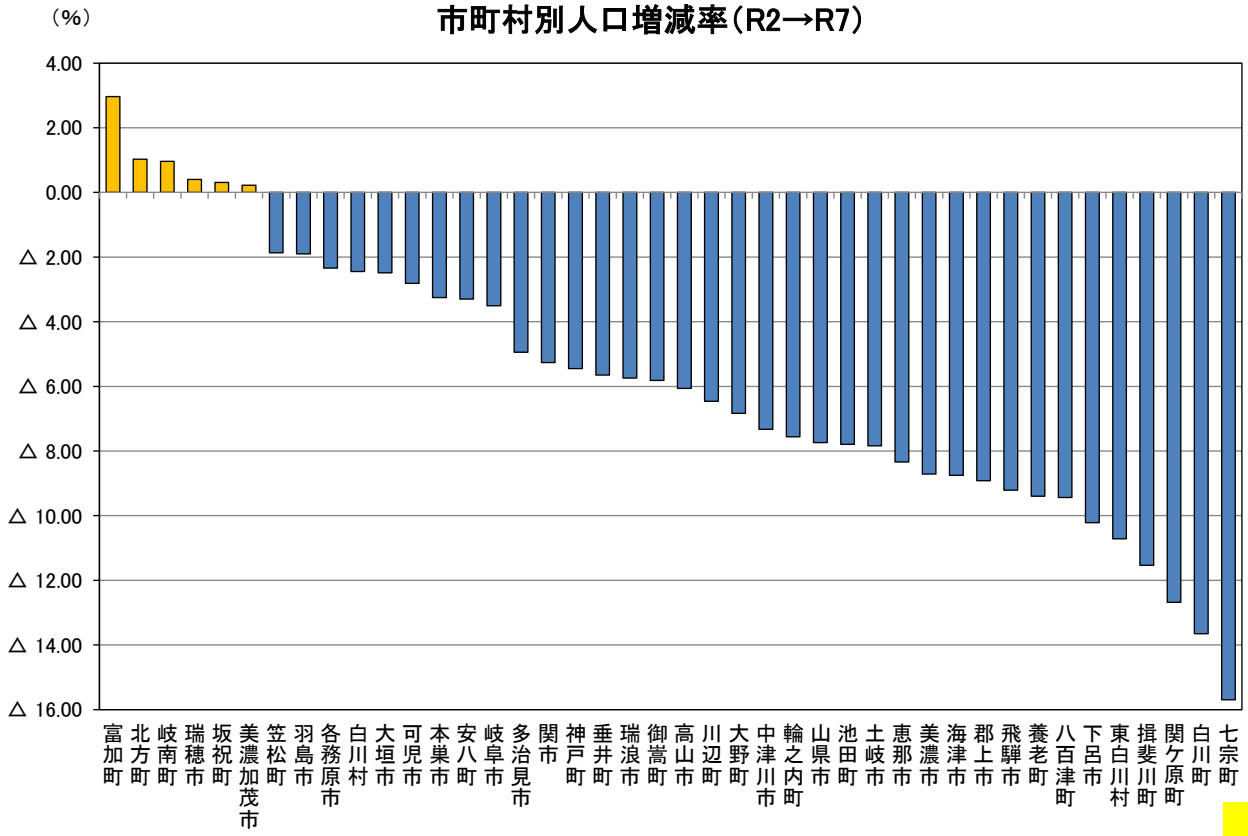
まとめ方の例

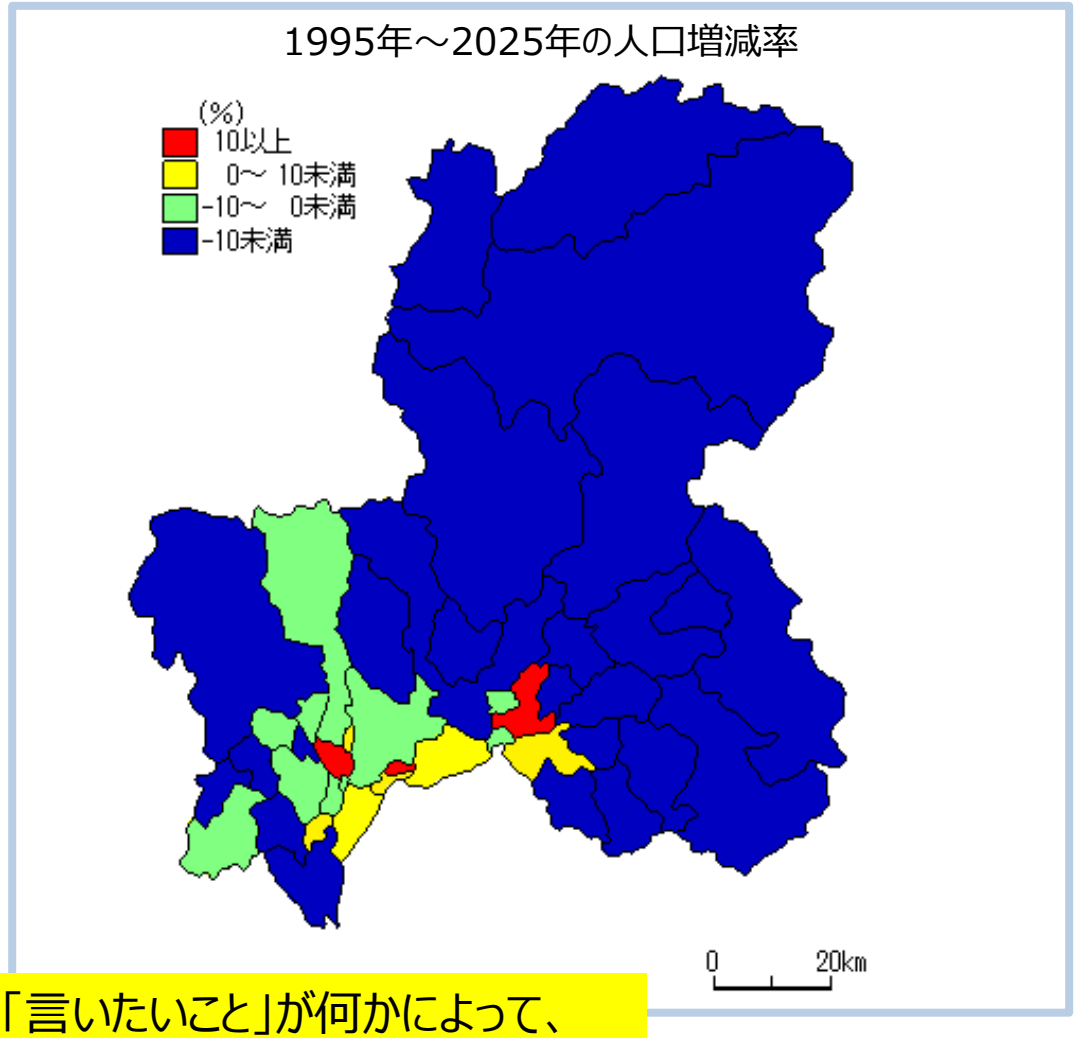
課題	なぜその課題を選んだのか。
調査の方法	誰にどんなアンケートをしたか。
現在の姿	今のみんなの行動や考えはどうか。
原因と分析	なぜなのか。どんな傾向があるか。
解決策（結論）	みんなの願いや解決策は何か。

Conclusion 情報をまとめ、結論を考えよう

効果的に伝えられるグラフ・表・図を選ぼう

言いたいことをより伝えられるのはどちら？



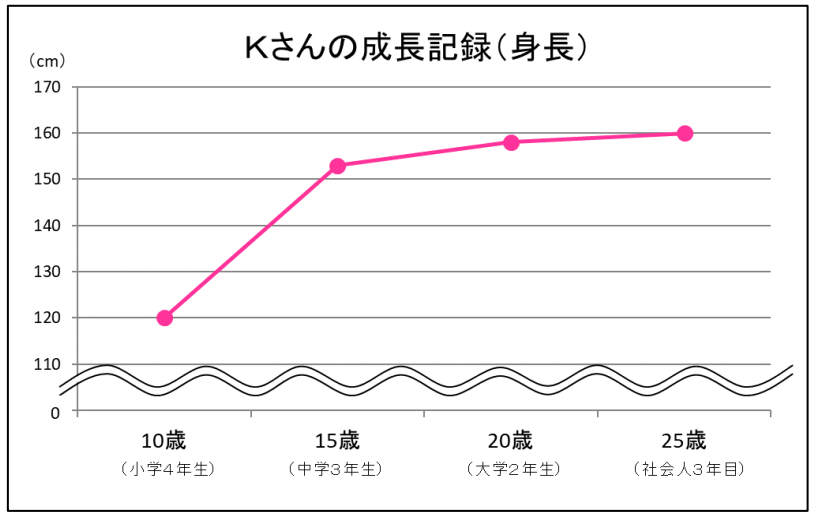


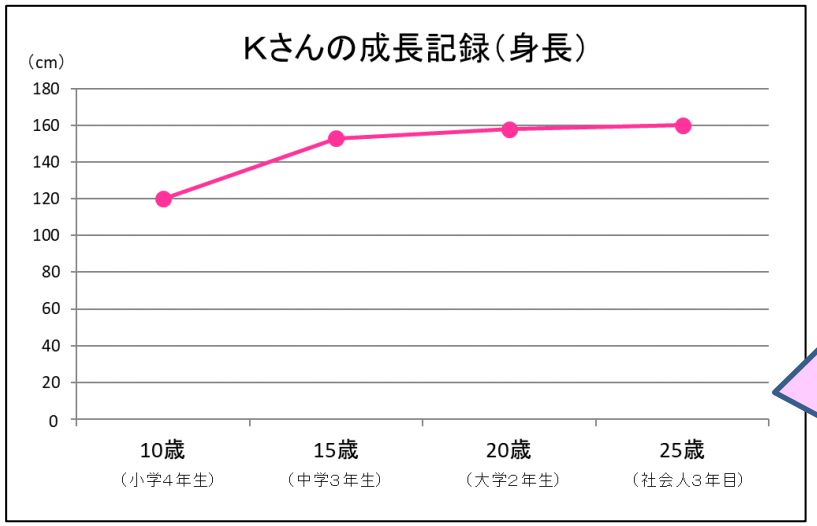
出典：総務省「国勢調査」

自分の「言いたいこと」が何かによって、
見せ方（グラフや地図）を工夫する！

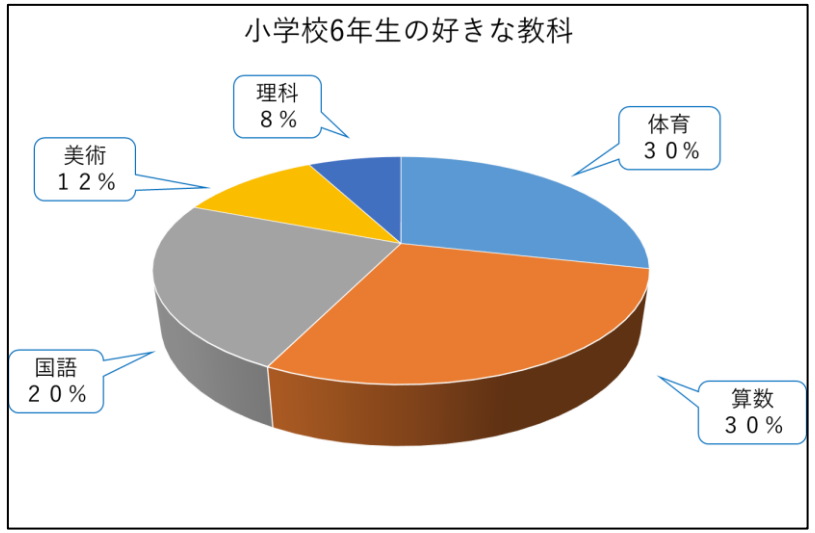
Conclusion 情報をまとめ、結論を考えよう

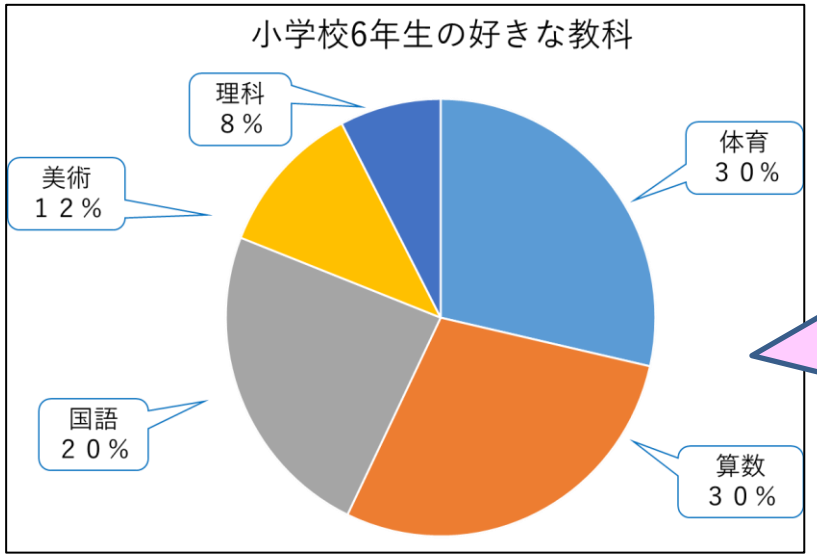
グラフ作成時の注意点





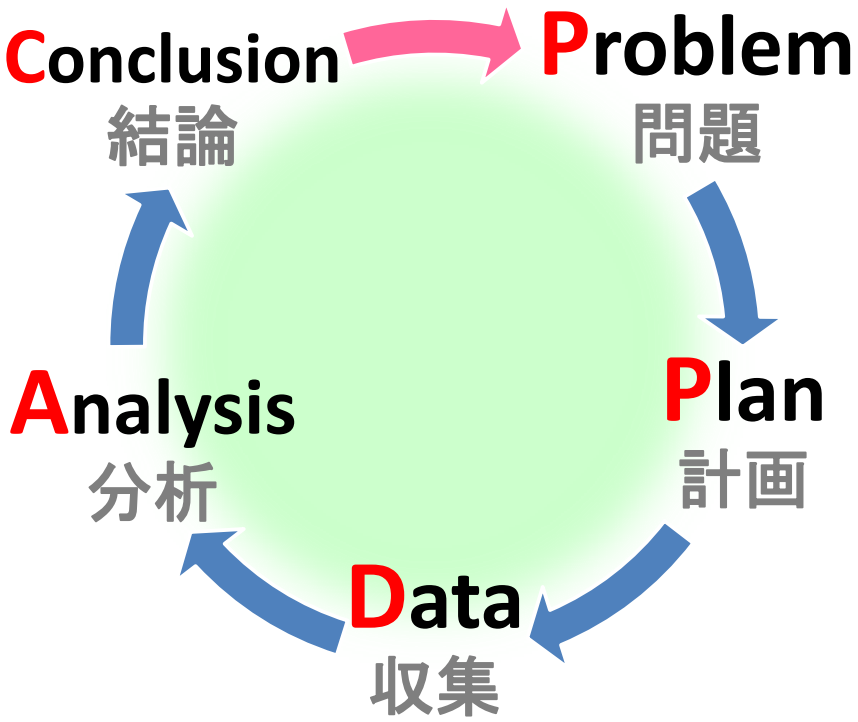
省略記号を使うなどして、
変化を大きく見せると、
誤った印象を与えてしまう
から注意！





円グラフを立体で表すと、
実際の割合とちがって
見えてしまうから注意！

PPDAC「サイクル」 ― さらなる課題の発見



PPDACを繰り返す

- 課題解決は１回の調査・分析だけでできるものではない。
- 今回の調査結果から、どんなことを調査したらさらに分析が深まるか考え、次の調査の課題として残そう。
- 仲間の意見や質問、分析結果も参考にし、様々な視点を持とう。

PPDACを繰り返すことで、分析が深まり、よりよい解決策へ導くことができる

＜参考＞

『なるほど統計学園』

　グラフの作り方、統計の特徴のとらえ方、データの探し方など、統計データを活用した問題解決の参考になるサイトです。本日の講義の資料も、このサイトを参照して作成しました。

https://www.stat.go.jp/naruhodo/index.html

なるほど統計学園　**検索**

お願い：統計調査にご協力を！

統計データのほとんどは、国民のみなさまの統計調査への協力によって初めて分かることです。

統計調査への協力が求められた場合には、回答へのご協力をお願いします。



お知らせ

岐阜県では、**公務員の仕事に関心**がある学生の方を
対象とした**説明会**や**インターンシップ**を実施しています



【主なイベント（令和８年度実績）】
・岐阜県職員ガイダンス
・岐阜県職員インターンシップ（１週間程度）
・岐阜県長期インターンシップ（３週間程度）

岐阜県職員の仕事内容や生の声を実際に見聞きできます！
ご興味のある方はお気軽に **岐阜県職員採用情報** で **検索** ！